

令和5年県民意識調査結果報告書

【概要版】

令和6年3月
宮 城 県

目次

I 調査の概要	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の実施状況	1
3 調査結果の見方	2
II 調査結果	3
1 新・宮城の将来ビジョンについて	3
(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	3
(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	5
(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	7
(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	9
(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	11
(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	13
(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	15
(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	17
2 テーマ別項目	21
(1) 暮らしの満足度について	21
(2) 防災意識について	27
(3) 宮城県の復旧・復興の進捗状況について	28
(4) 投票率向上のための施策について	30
(5) エシカル消費について	33
(6) 救急電話相談ダイヤルについて	36
(7) 少子化対策について	40
III 参考資料	42
1 回答者属性一覧	42

I 調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また今後どのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や事業の企画立案などに活用します。

2 調査の実施状況

①調査対象

宮城県に居住する 18 歳以上の方 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

②調査方法

郵送配布、郵送及びインターネット回答

③調査期間

令和 5 年 11 月 24 日（金）から令和 5 年 12 月 19 日（火）まで

④調査項目

- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 政策の重視度、満足度等に関する項目
 - 回答者属性及び調査方法等に関する項目
- このほか、テーマ別項目の調査を実施

⑤回収結果

回収数 1,840 件 有効回答数 1,837 件（うち郵送回答数 1,506 件、インターネット回答数 331 件）
回収率 46.0% 有効回答率 45.9%（うち郵送回答率 82.0%、インターネット回答率 18.0%）

3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○n（number of cases）とは、設問ごとに無回答者数を除いた回答者総数のことです。

○この調査で用いている用語の意義は、次のとおりです。

- ・「高重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「あまり重要でない」、「重要でない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「満足群割合」とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「不満群割合」とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「仙南圏域」とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・「仙台圏域」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の14市町村です。
- ・「大崎圏域」とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・「栗原圏域」とは、栗原市の1市です。
- ・「登米圏域」とは、登米市の1市です。
- ・「石巻圏域」とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・「気仙沼・本吉圏域」とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。

II 調査結果

1 新・宮城の将来ビジョンについて

「新・宮城の将来ビジョン」に基づく取組について、8つの「つくる」ごとに「重視度」、「満足度」及び「今後優先すべきと思うテーマ」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

取組	テーマ
1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	1 県内に新たな企業を呼び込み、最新技術の活用を進める 2 研究開発の拠点を集め、企業、大学と連携して地域産業を活性化 3 ものづくり産業の発展を支援する
2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	4 地域の持ち味を生かし、収益力が高い観光産業を実現する 5 魅力的な観光地づくりや効果的な観光情報の発信により、観光客を増やす 6 高齢化や過疎化などで衰退した商業・サービス業を復活させる
3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	7 農林水産業や食産業を将来にわたり発展させる 8 農林水産物の国内外へのPRや、生産管理を支援する 9 食の安全・安心を確保する

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は、77.9%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は32.3%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は43.4%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「9 食の安全・安心を確保する（46.8%）」で、次いで「6 高齢化や過疎化などで衰退した商業・サービス業を復活させる（39.4%）」、「7 農林水産業や食産業を将来にわたり発展させる（35.2%）」の順となっています。

図 1 重視度割合（県全体）

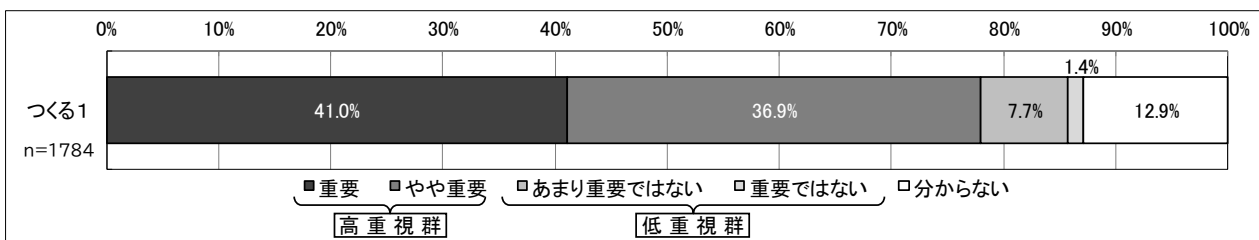


表 1 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	77.9%	80.7%	75.7%	81.6%	79.4%	76.2%	78.0%	84.6%	76.1%	81.4%	77.3%	71.6%	78.0%

図 2 満足度割合 (県全体)

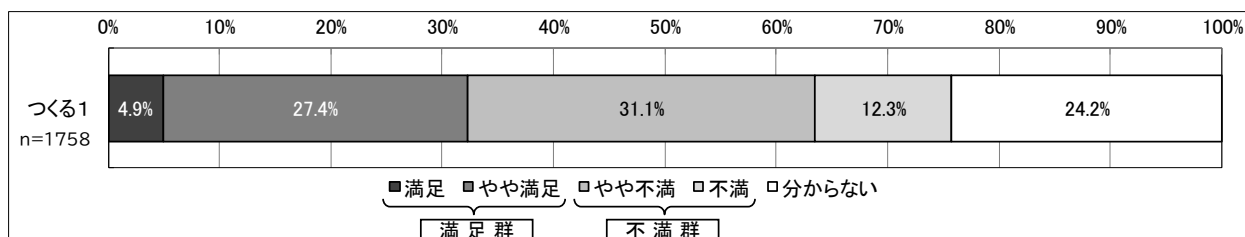


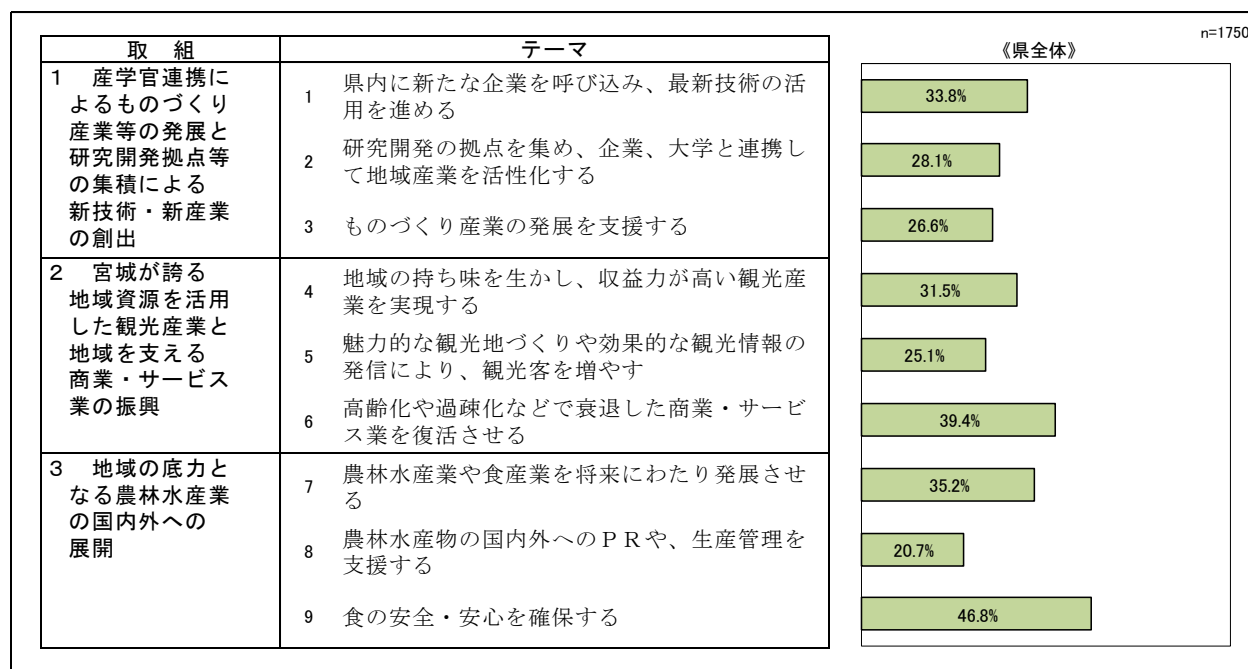
表 2 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	32.3%	34.9%	30.0%	32.9%	34.4%	30.9%	36.2%	31.5%	36.2%	28.7%	36.3%	31.9%	26.9%

表 3 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	43.4%	44.7%	42.2%	34.5%	43.9%	45.4%	39.5%	45.2%	40.2%	48.4%	43.1%	39.2%	48.2%

図 3 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

取組	テーマ
4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	1 県内への就職・就業を進め、人材を育て、担い手を確保する 2 誰もが希望どおり働き続けるための環境を整える 3 リカレント教育を支援する 4 個人や企業の事業アイデアの実現や経営力の強化を支援する
5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	5 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等を整備する 6 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等の産業基盤を有効活用する 7 他地域から東北に呼び込むゲートウェイ機能を強化する

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は 82.3%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は 34.0%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は 42.4%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 県内への就職・就業を進め、人材を育て、担い手を確保する(69.4%)」で、次いで「2 誰もが希望どおり働き続けるための環境を整える(52.1%)」、「7 他地域から東北に呼び込むゲートウェイ機能を強化する(28.9%)」の順となっています。

図 4 重視度割合 (県全体)

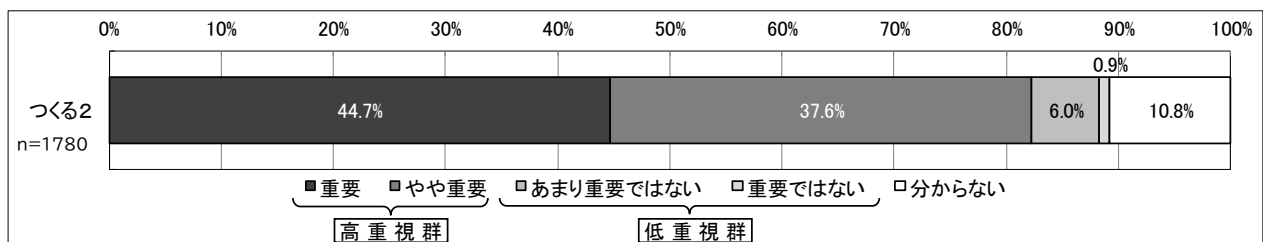


表 4 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	82.3%	85.3%	79.7%	80.9%	84.9%	81.1%	81.3%	85.1%	83.0%	82.2%	77.9%	85.9%	81.5%

図 5 満足度割合 (県全体)

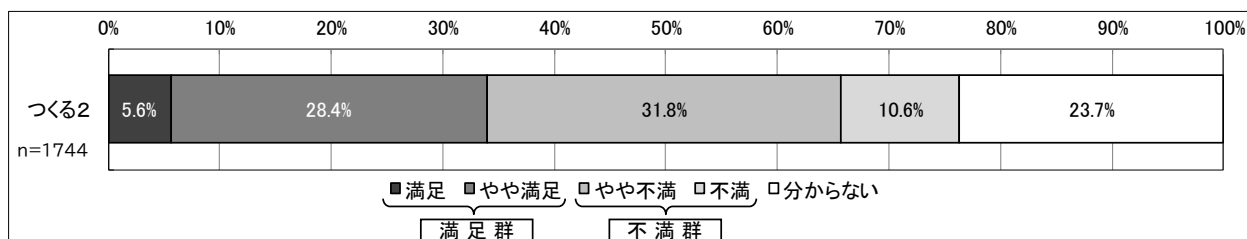


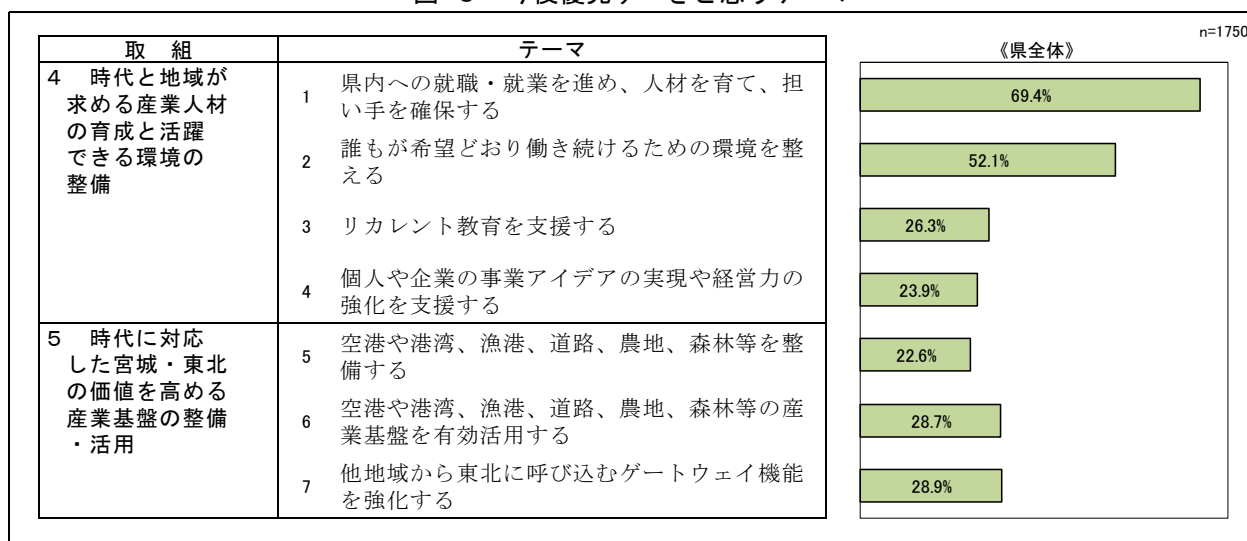
表 5 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	34.0%	35.1%	33.1%	38.2%	35.4%	31.9%	35.5%	32.5%	36.2%	30.5%	39.4%	35.3%	28.9%

表 6 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	42.4%	46.2%	38.7%	28.8%	43.6%	45.1%	42.1%	45.9%	38.7%	45.2%	39.0%	39.5%	46.7%

図 6 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

取組	テーマ
6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	1 結婚・妊娠・出産を望む人たちを支援する 2 子育て家庭の心理的・経済的な負担を少なくする 3 安心して子育てができるような職場や社会の環境をつくる
7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	4 すべての子どもが健やかに育ち、安心して教育を受けられる環境をつくる 5 社会全体で虐待から児童を守る 6 子どもが基本的な生活習慣などを身に付けられるように家庭を支援する 7 家庭・地域・学校が協力できるような仕組みを強化する

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は91.2%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は30.6%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は52.9%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「3 安心して子育てができるような職場や社会の環境をつくる(69.5%)」で、次いで「1 結婚・妊娠・出産を望む人たちを支援する(54.5%)」、「2 子育て家庭の心理的・経済的な負担を少なくする(52.6%)」の順となっています。

図 7 重視度割合 (県全体)

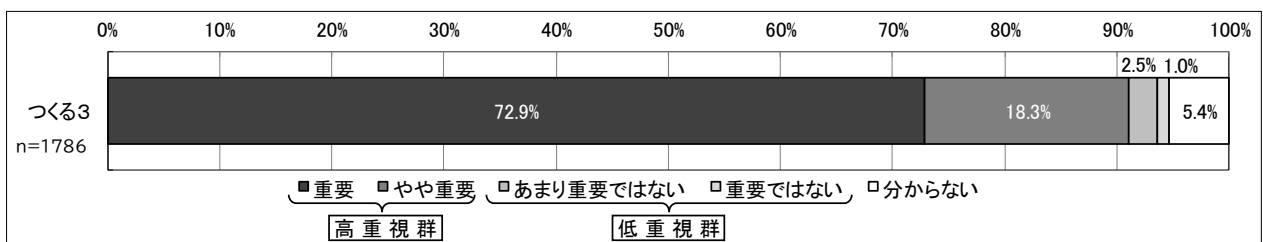


表 7 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	91.2%	91.3%	91.3%	94.4%	89.7%	91.2%	91.4%	90.6%	90.4%	91.6%	90.3%	89.2%	95.2%

図 8 満足度割合 (県全体)

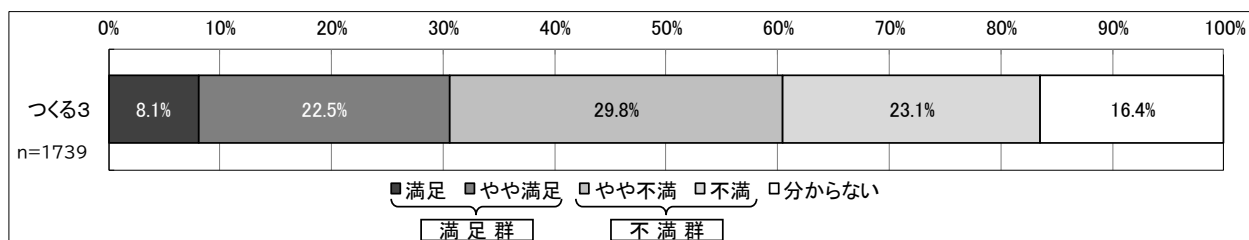


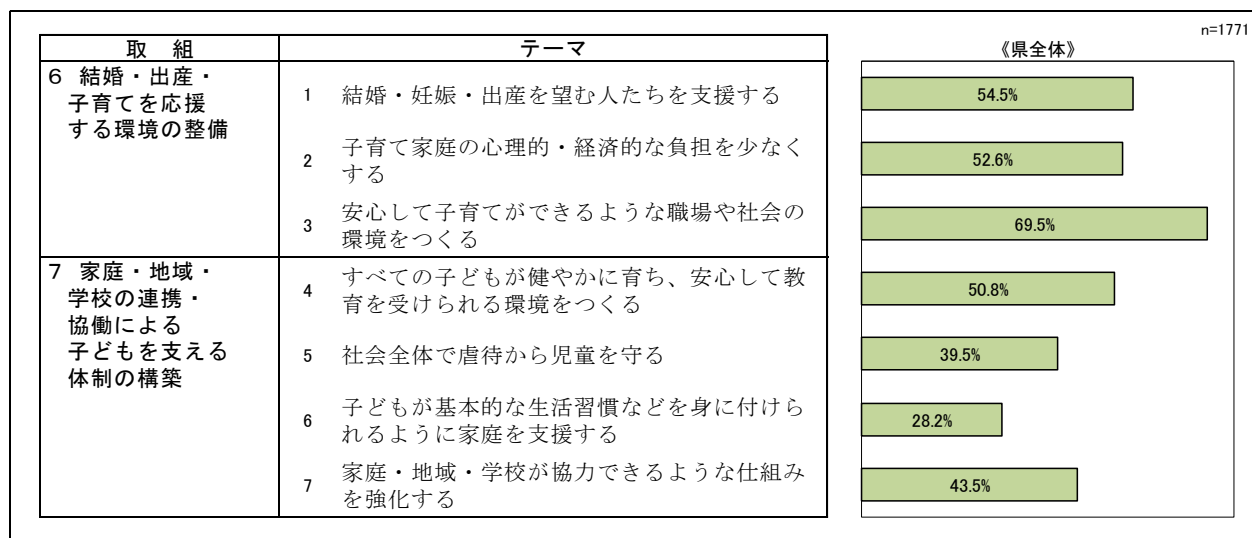
表 8 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	30.6%	28.9%	32.0%	28.5%	30.4%	31.3%	31.2%	27.1%	34.5%	34.4%	30.9%	31.1%	24.9%

表 9 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	52.9%	55.5%	50.6%	51.4%	54.4%	52.4%	53.2%	56.4%	48.5%	49.8%	53.4%	49.3%	61.5%

図 9 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

取組	テーマ
8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	1 他の人と協調し、思いやる心や感動する心などをはぐくむ 2 基礎的な学力や考える力・表現する力を高める 3 最新技術や国際化に対応するための能力をはぐくむ 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上を進める
9 安心して学び続けることができる教育体制の整備	5 子どもたちが行きたくなるような学校づくりを進める 6 多様な子どもたちに合わせた教育体制をつくる 7 いじめの防止対策や不登校児童生徒一人ひとりに応じた支援を実施する 8 教職員のスキルアップや働きやすい学校づくりに取り組む

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は91.3%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は35.0%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は44.8%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 他の人と協調し、思いやる心や感動する心などをはぐくむ(55.8%)」で、次いで「2 基礎的な学力や考える力・表現する力を高める(49.8%)」、「7 いじめの防止対策や不登校児童生徒一人ひとりに応じた支援を実施する(45.7%)」の順となっています。

図 10 重視度割合 (県全体)

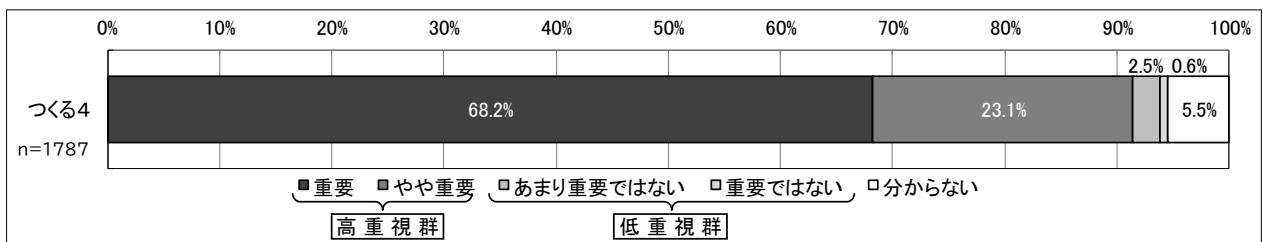


表 10 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	91.3%	91.1%	91.7%	92.4%	90.6%	91.5%	91.9%	91.9%	90.4%	91.9%	90.6%	90.0%	93.2%

図 1 1 満足度割合 (県全体)

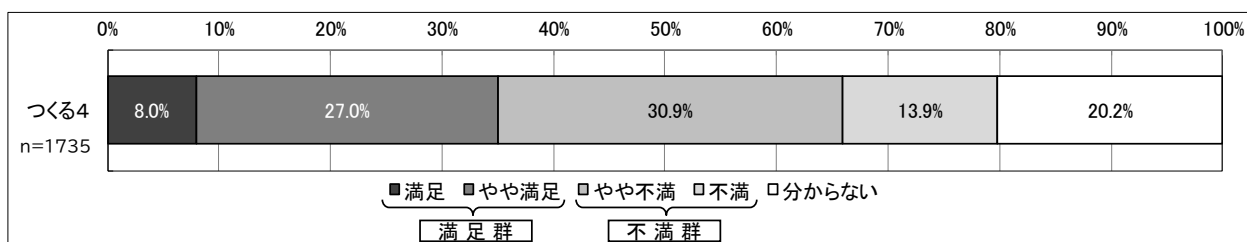


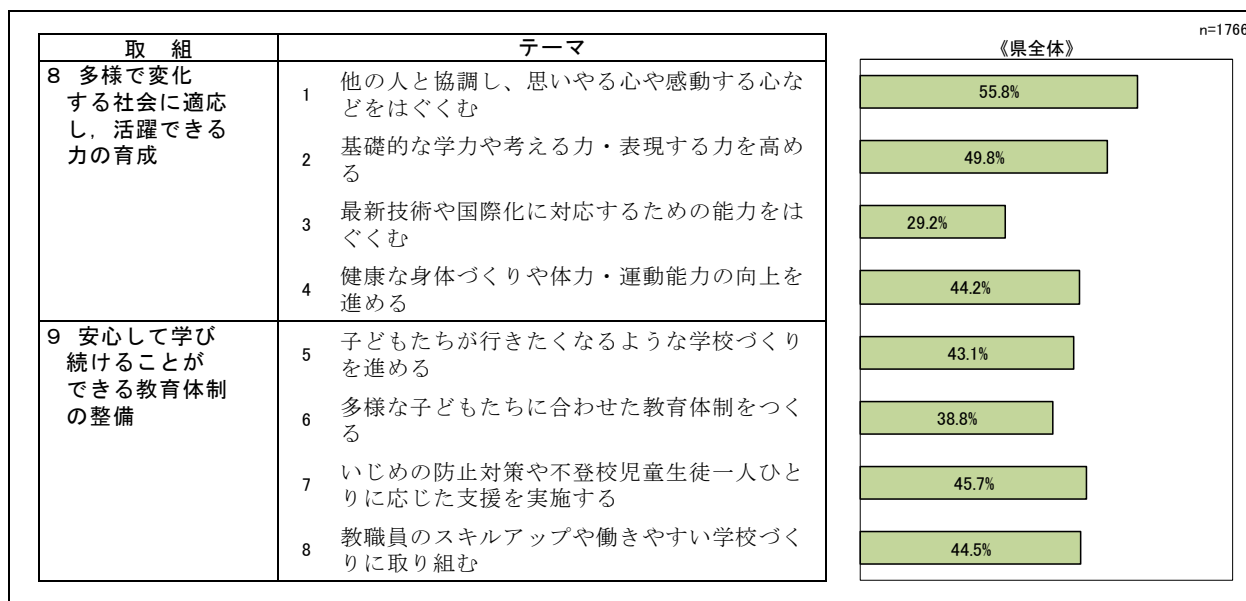
表 1 1 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	35.0%	34.3%	35.5%	32.2%	36.4%	34.8%	39.9%	29.2%	38.1%	36.6%	34.6%	35.1%	30.8%

表 1 2 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	44.8%	46.9%	43.1%	41.6%	44.9%	45.6%	40.0%	50.0%	41.8%	44.5%	46.0%	43.3%	50.2%

図 1 2 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

取組	テーマ
10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	1 誰もが自分らしく活躍できる雇用環境の整備、就労を支援する 2 女性や高齢者等が活躍できる社会をつくる 3 地域のつながりを強化し活性化させる 4 外国人が活躍しやすい社会をつくる
11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	5 県民が行う文化芸術活動への支援や文化芸術に親しむ機会を増やす 6 文化芸術やスポーツの持つ力を様々な分野で活用する 7 アスリートへの支援や県民がスポーツを楽しむ機会を増やす 8 様々な学びの機会を提供し、人材育成を進める

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は82.6%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は35.0%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は41.6%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 誰もが自分らしく活躍できる雇用環境の整備、就労を支援する(64.3%)」で、次いで「8 様々な学びの機会を提供し、人材育成を進める(50.3%)」、「2 女性や高齢者等が活躍できる社会をつくる(47.9%)」の順となっています。

図 13 重視度割合 (県全体)

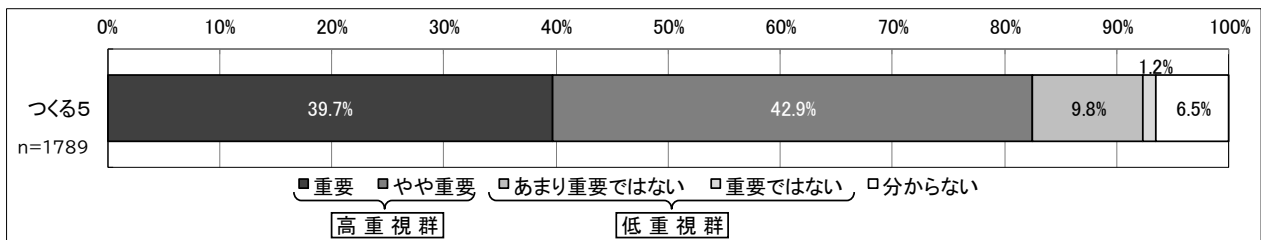


表 13 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	82.6%	80.3%	84.5%	80.1%	80.8%	84.1%	82.3%	84.4%	84.0%	83.5%	85.7%	79.9%	77.7%

図 14 満足度割合 (県全体)

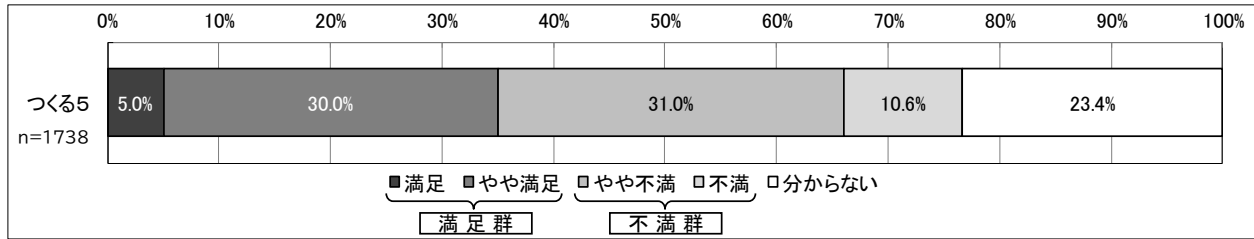


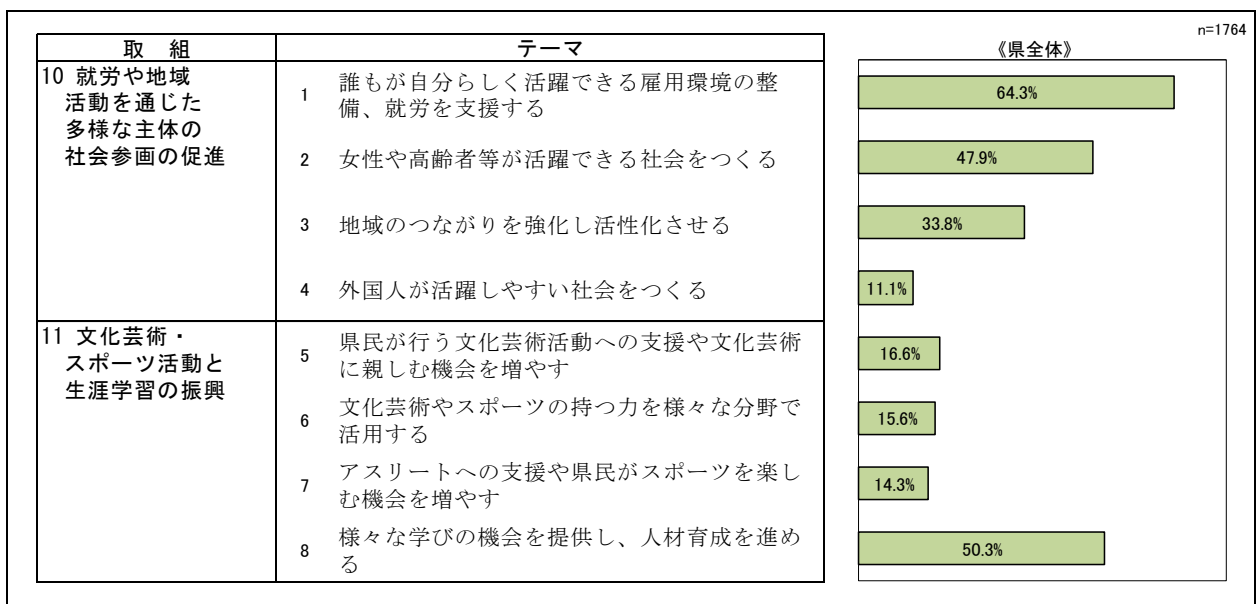
表 14 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	35.0%	35.9%	33.9%	34.5%	35.9%	34.3%	38.5%	32.2%	37.3%	34.0%	35.5%	39.0%	27.7%

表 15 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	41.6%	42.1%	41.3%	32.1%	39.9%	45.3%	39.3%	40.0%	41.1%	43.8%	44.8%	35.5%	47.4%

図 15 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

取組	テーマ
12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	1 心と身体の健康を保てるよう、あらゆる世代への支援体制を強化する 2 日常の医療から高度な医療まで、切れ目のない医療サービス提供体制をつくる 3 感染症の発生及びまん延を防ぎ、必要な医療を受けられる体制をつくる 4 介護予防や生活支援サービスの充実・介護人材の確保などを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をつくる
13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	5 障害や障害者に対する理解・関心を深め、障害のある人もない人も共に支え合う社会をつくる 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進める 7 障害者や難病患者等が安心して暮らせるよう、福祉サービスを充実させる
14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成	8 生活に必要な交通手段を提供する事業者を支援し、地域に適した移動手段を確保する 9 商店街の魅力を高め、地域のにぎわいをつくる 10 地域が一体となって、犯罪や交通事故などが起きにくい環境をつくる

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は93.6%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は36.8%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は48.4%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「4 介護予防や生活支援サービスの充実・介護人材の確保などを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をつくる(56.7%)」で、次いで「2 日常の医療から高度な医療まで、切れ目のない医療サービス提供体制をつくる(54.2%)」、「8 生活に必要な交通手段を提供する事業者を支援し、地域に適した移動手段を確保する(52.5%)」の順となっています。

図 16 重視度割合 (県全体)

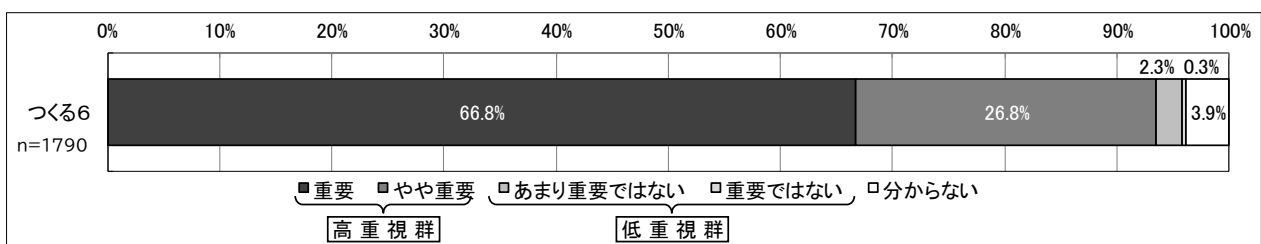


表 16 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	93.6%	93.2%	94.0%	92.4%	92.8%	94.2%	92.7%	95.6%	93.2%	92.3%	94.0%	93.3%	94.8%

図 17 満足度割合 (県全体)

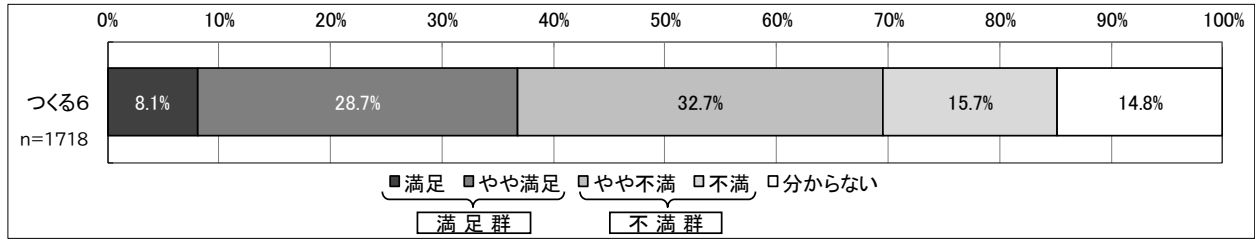


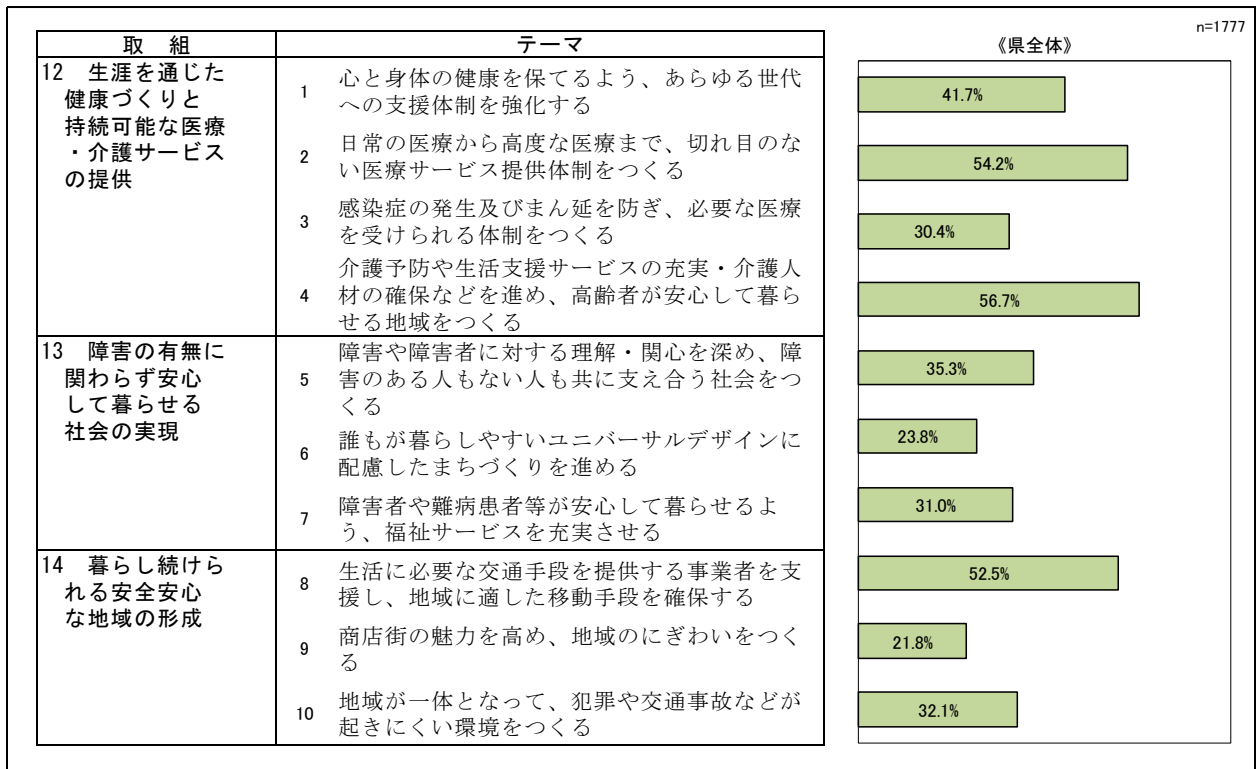
表 17 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	36.8%	37.9%	35.8%	39.1%	36.8%	36.1%	40.7%	34.8%	42.5%	36.6%	36.8%	37.4%	28.2%

表 18 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	48.4%	48.6%	48.0%	36.2%	49.4%	50.9%	44.4%	49.5%	42.9%	46.9%	50.9%	46.8%	58.3%

図 18 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

取組	テーマ
15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	1 環境汚染の防止や地球温暖化対策をはじめとする環境問題への理解を深め、環境にやさしい行動をする 2 エネルギーを無駄なく使い、再生可能エネルギーの利用を増やす 3 環境問題の解決につながる産業を成長させる 4 ゴミを減らしながら、できるだけ再利用やリサイクルをする 5 ゴミの不法投棄等をなくし、正しく処分する
16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	6 地域の生き物がこれからも暮らし続けられる自然環境を守る 7 森林や水辺、農山漁村について学べる環境をつくる 8 農村・漁村、森林など地域の豊かな恵みを守りながら、色々な面で積極的に活用する 9 農村・漁村の暮らしや景観等を生かして都市部から人を呼び込む

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は84.8%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は35.8%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は42.1%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 環境汚染の防止や地球温暖化対策をはじめとする環境問題への理解を深め、環境にやさしい行動をする(49.5%)」で、次いで「4 ゴミを減らしながら、できるだけ再利用やリサイクルをする(48.6%)」、「2 エネルギーを無駄なく使い、再生可能エネルギーの利用を増やす(43.4%)」の順となっています。

図 19 重視度割合 (県全体)

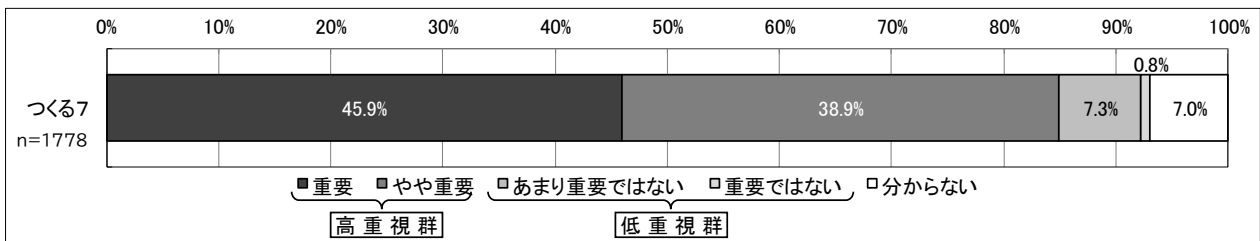


表 19 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	84.8%	84.8%	84.8%	80.8%	82.3%	87.2%	86.4%	89.8%	85.5%	85.4%	85.2%	79.6%	82.4%

図 20 満足度割合 (県全体)

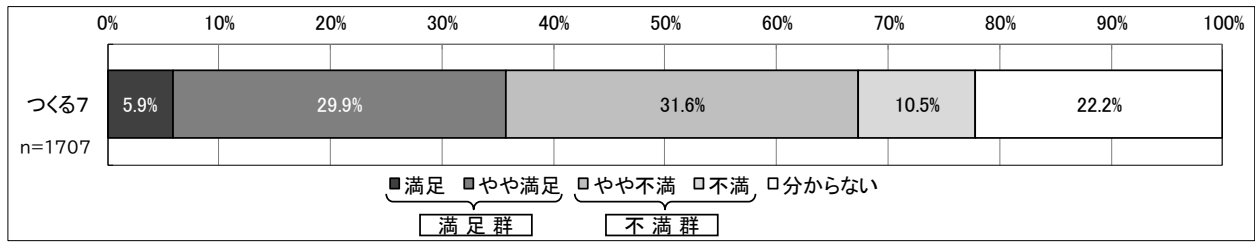


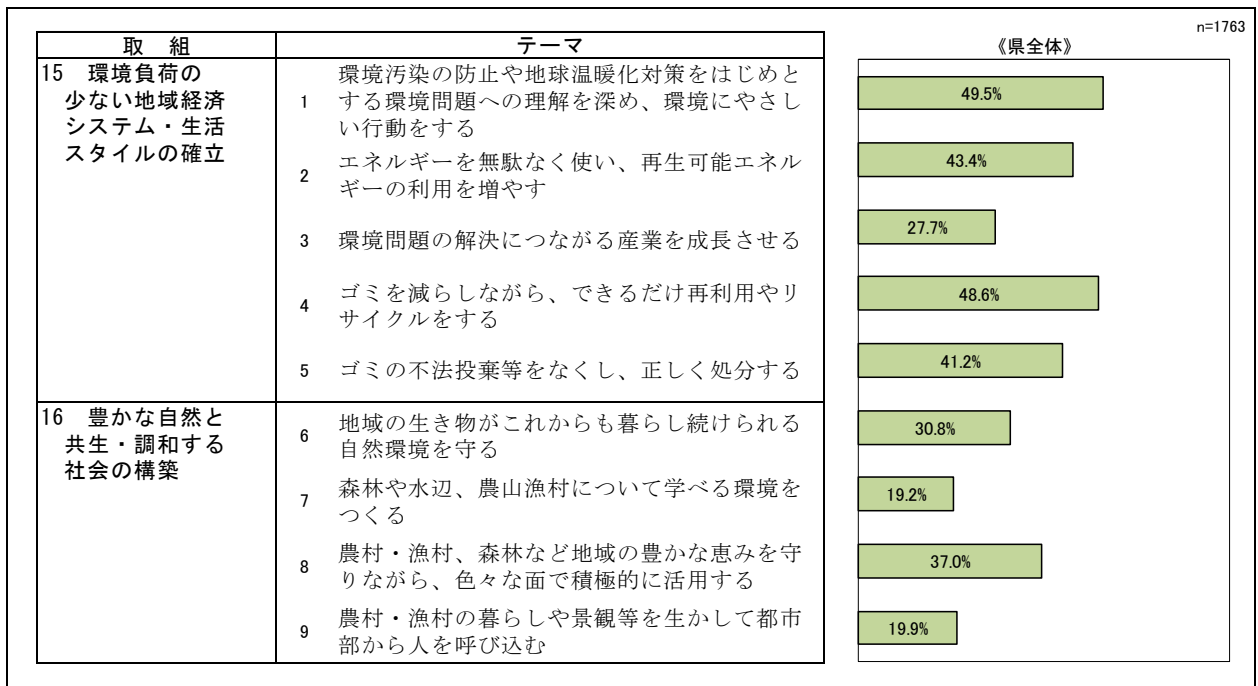
表 20 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	35.8%	34.9%	36.6%	38.6%	36.4%	34.7%	39.7%	29.4%	41.9%	36.4%	37.7%	34.1%	32.1%

表 21 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	42.1%	45.9%	38.4%	31.1%	40.6%	45.8%	38.0%	47.4%	37.3%	41.2%	43.9%	39.8%	47.1%

図 21 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

取組	テーマ
17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	1 東日本大震災の経験を活かし、災害発生時の対応力を高める 2 企業や町内会等と連携し、地域における防災体制を強化する 3 避難訓練などを通じて、県民の防災意識を高める 4 防災に関する教育を充実させ、学校の防災体制を強化する 5 施設の整備や情報提供体制の強化などにより、災害への備えを充実させる
18 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実	6 道路、水道等のインフラを計画的に整備するとともに、適切に維持管理する 7 企業や地域住民と協力した公共施設管理の取組を進める

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は93.1%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は43.3%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は41.3%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 東日本大震災の経験を活かし、災害発生時の対応力を高める(64.4%)」で、次いで「6 道路、水道等のインフラを計画的に整備するとともに、適切に維持管理する(64.1%)」、「5 施設の整備や情報提供体制の強化などにより、災害への備えを充実させる(39.7%)」の順となっています。

図 2 2 重視度割合 (県全体)

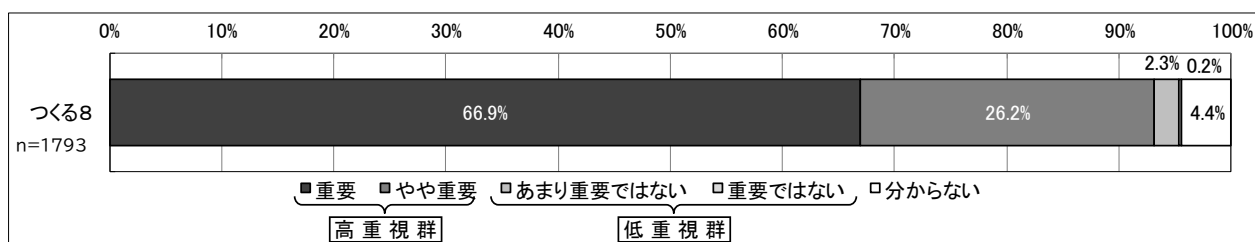


表 2 2 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	93.1%	92.8%	93.2%	91.2%	92.7%	93.7%	95.1%	95.1%	91.6%	93.0%	92.1%	90.9%	93.6%

図 2 3 満足度割合 (県全体)

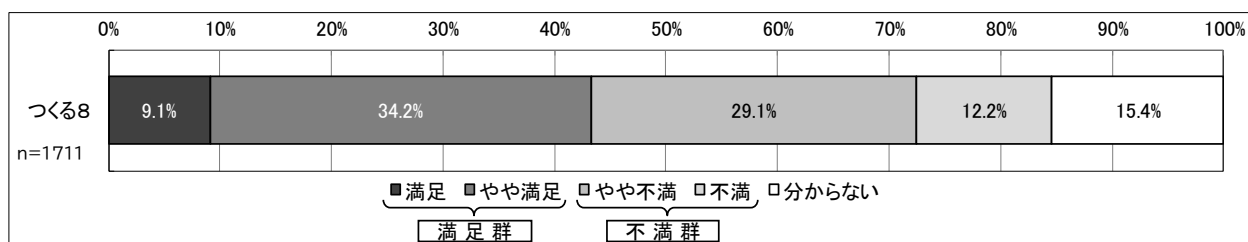


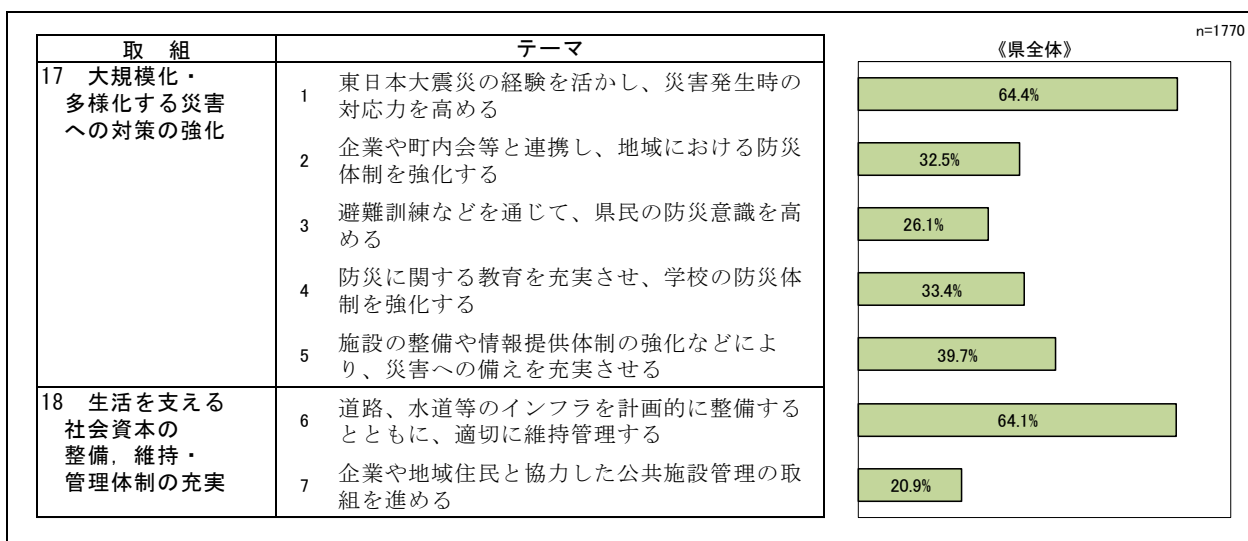
表 2 3 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	43.3%	43.1%	43.5%	42.0%	44.1%	43.1%	42.2%	40.7%	44.7%	43.7%	43.4%	44.3%	44.1%

表 2 4 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	41.3%	43.2%	39.6%	33.3%	40.9%	43.8%	42.2%	43.4%	41.7%	40.8%	42.3%	37.3%	41.7%

図 2 4 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

【つくる1～つくる8の重視度・満足度のまとめ】

図 25 8つの「つくる」の重視度割合の比較 (県全体)

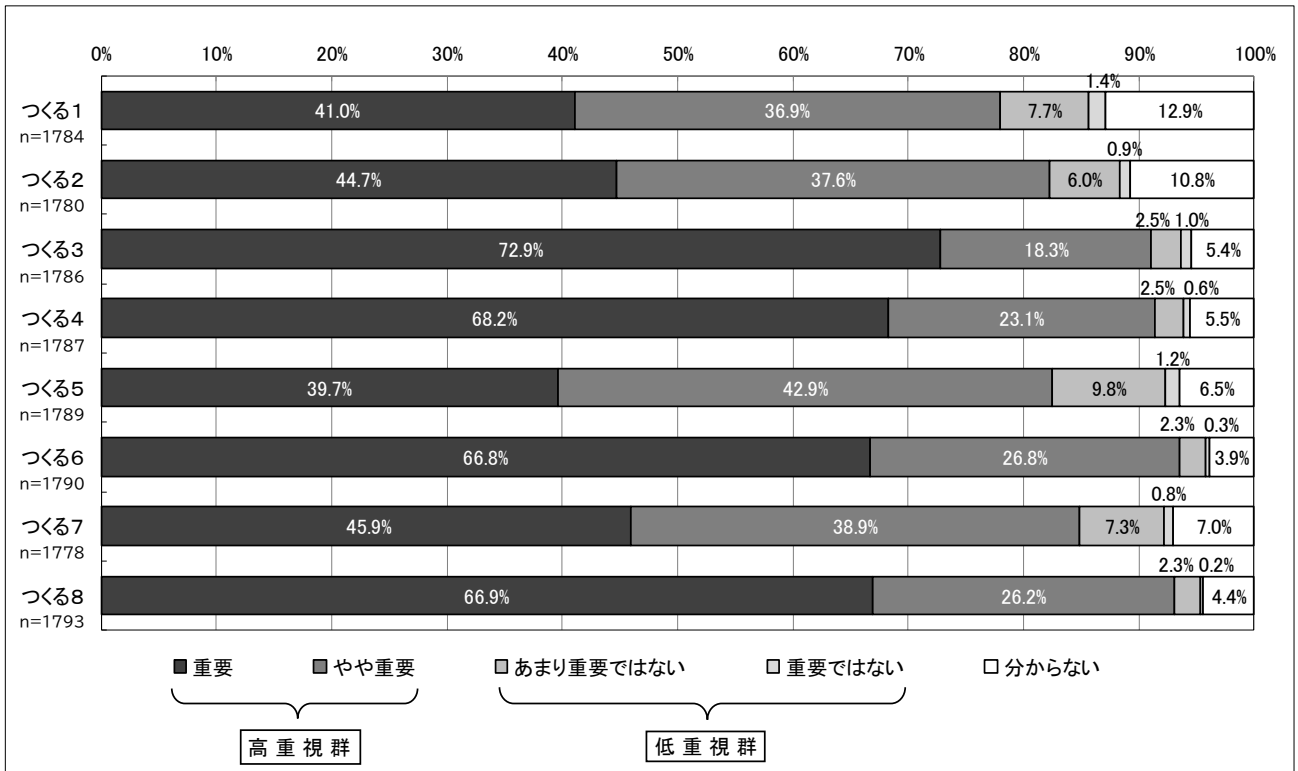


図 26 8つの「つくる」の満足度割合の比較 (県全体)

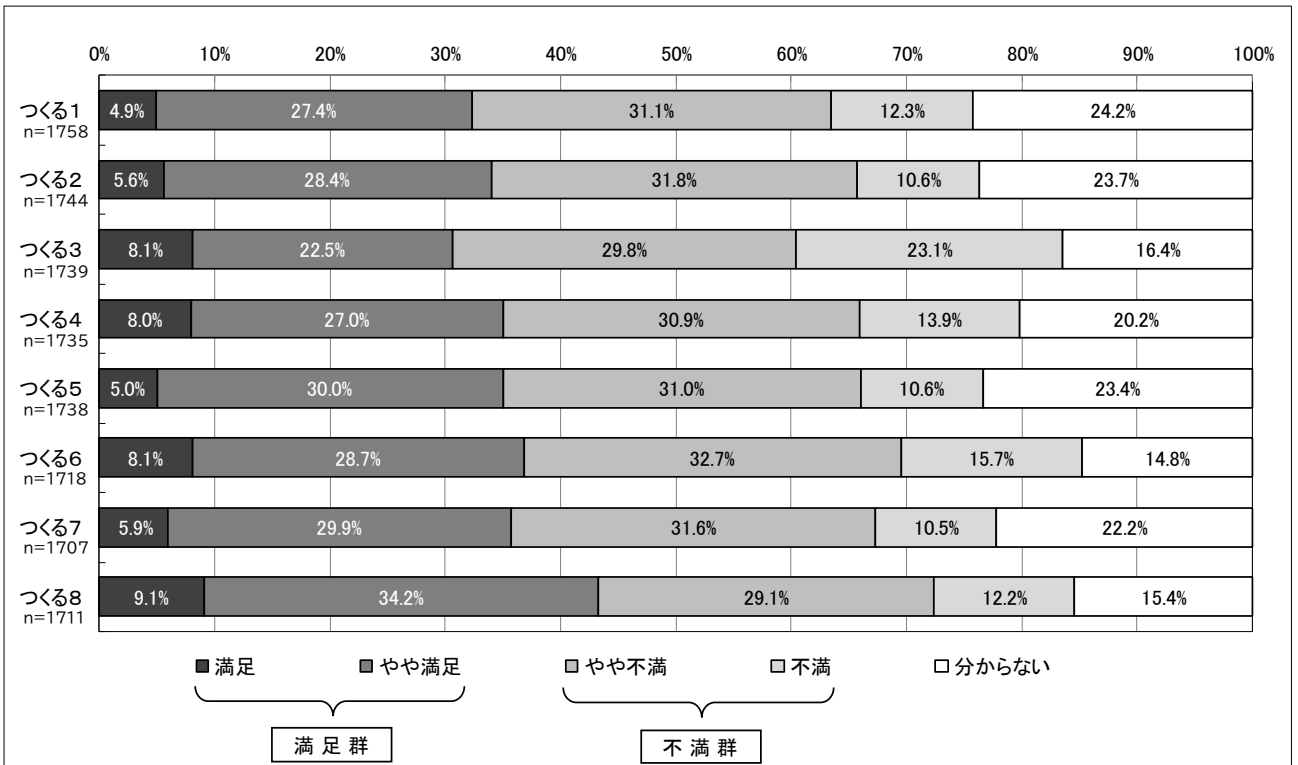


図 27 8つの「つくる」の「高重視群」、「満足群」、「不満群」の概要

新・宮城の将来ビジョンに基づく8つの「つくる」	高重視群		満足群		不満群	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位
つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	77.9	8	32.3	7	43.4	④
つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	82.3	7	34.0	6	42.4	⑤
つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	91.2	④	30.6	8	52.9	①
つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐむ教育環境をつくる	91.3	③	35.0	④	44.8	③
つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	82.6	6	35.0	④	41.6	7
つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	93.6	①	36.8	②	48.4	②
つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	84.8	⑤	35.8	③	42.1	6
つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	93.1	②	43.3	①	41.3	8

※1 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

2 テーマ別項目

テーマ別項目として、「暮らしの満足度について」、「防災意識について」、「宮城県の復旧・復興の進捗状況について」、「投票率向上のための施策について」、「エシカル消費について」、「救急電話相談ダイヤルについて」及び「少子化対策」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 暮らしの満足度について

調査結果の概要

【暮らしの満足度について】

- 県全体で、「暮らしの満足度」について、満足群が不満群を上回ったのは、「6 文化・芸術・スポーツへの親しみ（満足群 40.0%、不満群 35.3%）」で、その他はいずれも「不満群」が「満足群」を上回っています。
- 「満足群」が一番高かったのは、「8 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ（43.0%）」、一方で「不満群」が一番高かったのは「1 仕事の状況や収入（59.3%）」となっています。

【宮城で暮らして良かったと思うか】

- 県全体で、「宮城県で暮らして良かったと思うか」について、「良かった（34.6%）」又は「どちらかといえば良かった（49.9%）」と回答している割合の合計は、84.5%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば良くなかった（5.1%）」又は「良くなかった（1.9%）」と回答している割合の合計は、7.0%となっています。

図 1 暮らしの満足度（仕事の状況や収入）について（県全体）

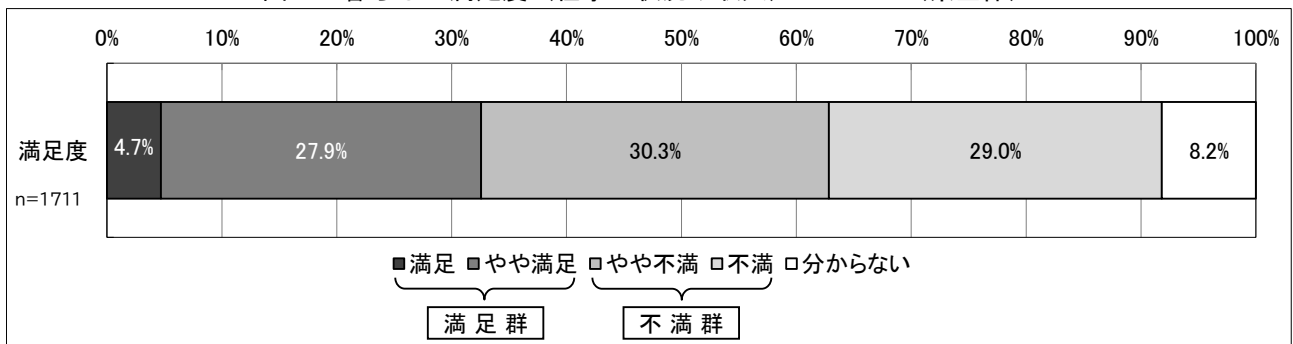


表 1 仕事の状況や収入に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	32.6%	35.1%	30.2%	32.8%	33.1%	32.1%	32.0%	34.8%	29.1%	31.7%	33.2%	35.6%	31.9%

表 2 仕事の状況や収入に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	59.3%	58.6%	59.8%	59.2%	64.6%	55.7%	58.4%	55.9%	62.3%	63.8%	58.9%	52.2%	61.8%

図2 暮らしの満足度（ワークライフバランス（仕事と生活））について（県全体）

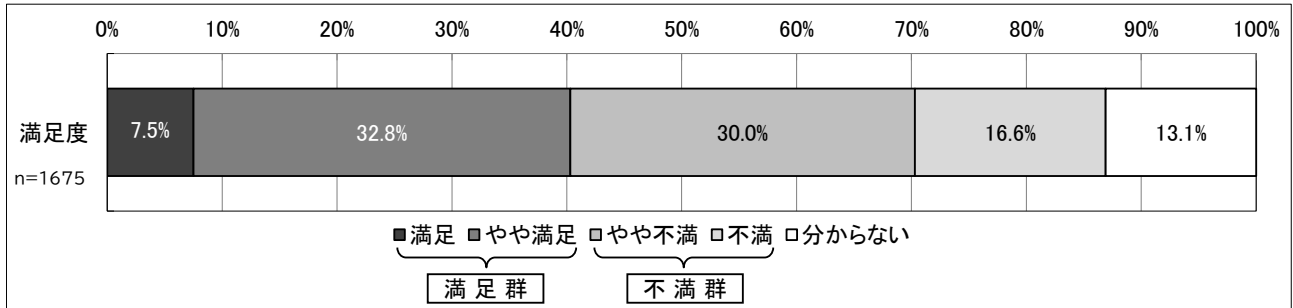


表3 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	40.3%	41.5%	39.5%	42.1%	41.2%	39.5%	37.6%	47.0%	37.2%	40.7%	41.5%	39.0%	39.9%

表4 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	46.6%	49.1%	44.1%	49.0%	54.3%	40.6%	46.2%	41.4%	51.1%	48.4%	45.0%	43.5%	49.8%

図3 暮らしの満足度（出産・子育てのしやすさ）について（県全体）

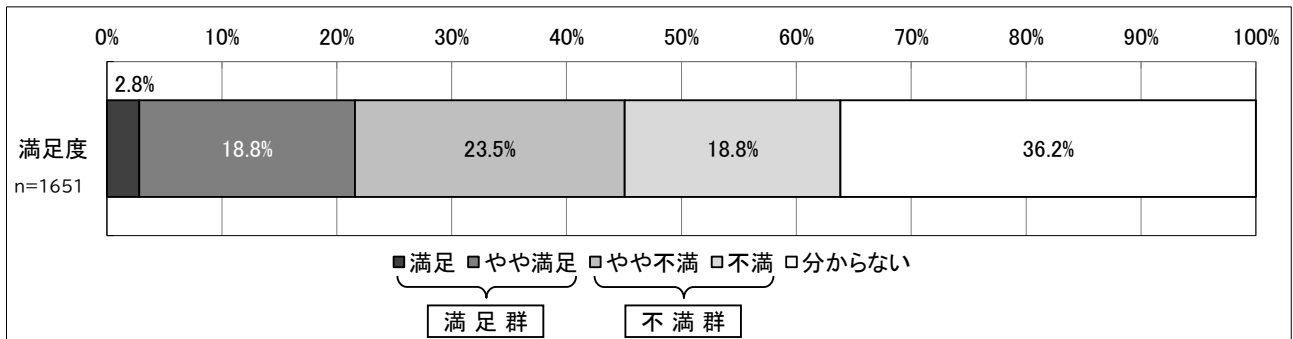


表5 出産・子育てのしやすさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	21.6%	19.1%	23.9%	18.5%	27.5%	18.6%	22.6%	24.2%	22.4%	24.2%	16.6%	23.9%	17.9%

表6 出産・子育てのしやすさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	42.3%	42.8%	41.7%	39.8%	44.1%	41.8%	41.3%	39.5%	43.8%	40.9%	47.6%	33.8%	48.9%

図4 暮らしの満足度（現在の学校教育の内容や環境）について（県全体）

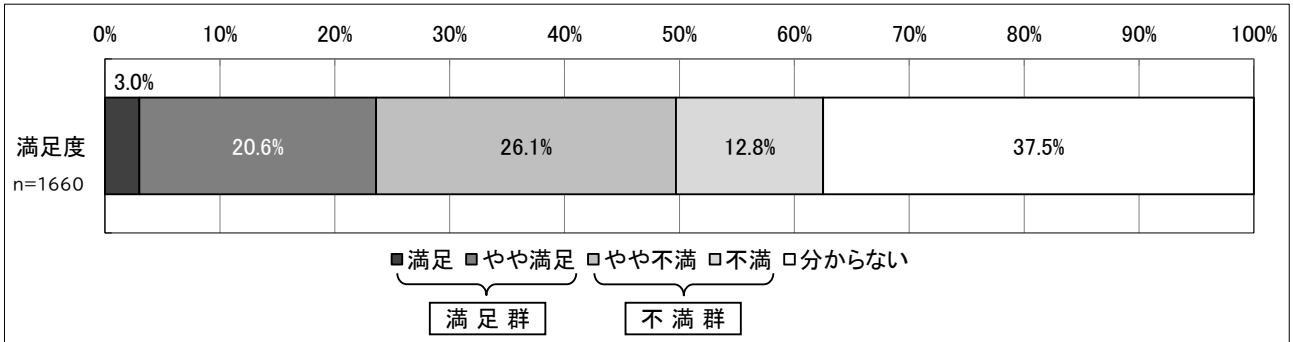


表7 現在の学校教育の内容や環境に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	23.6%	21.8%	25.0%	27.4%	25.9%	20.9%	24.4%	26.1%	20.8%	23.2%	23.5%	25.9%	21.0%

表8 現在の学校教育の内容や環境に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	38.9%	41.4%	36.8%	31.5%	42.6%	38.6%	31.3%	38.1%	45.4%	44.0%	37.6%	32.2%	43.9%

図5 暮らしの満足度（コミュニティの賑わいなど社会とのつながり）について（県全体）

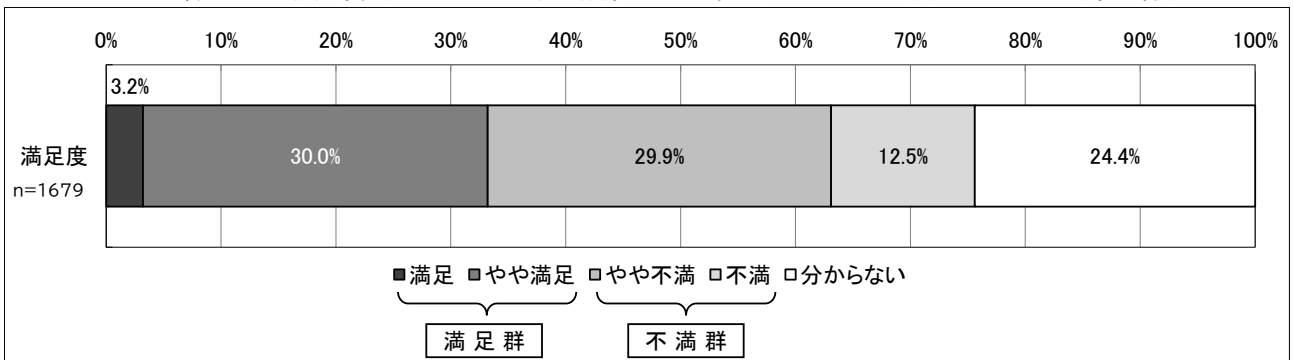


表9 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	33.2%	30.0%	36.3%	38.1%	29.8%	34.1%	30.1%	35.5%	36.5%	33.4%	35.9%	29.9%	29.3%

表10 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	42.4%	45.8%	39.5%	31.6%	41.4%	46.2%	42.8%	37.8%	43.2%	47.3%	42.3%	37.9%	46.1%

図6 暮らしの満足度（文化・芸術・スポーツへの親しみ）について（県全体）

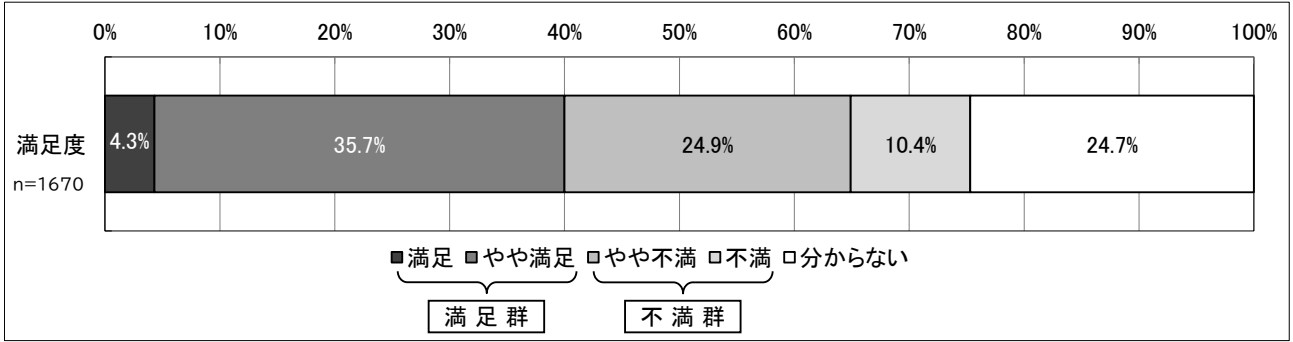


表11 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	40.0%	39.6%	40.4%	42.7%	39.0%	39.9%	37.7%	45.9%	40.6%	36.4%	41.9%	41.3%	36.8%

表12 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	35.3%	36.2%	34.5%	25.0%	35.3%	38.4%	34.4%	30.6%	38.0%	41.5%	32.7%	30.5%	39.8%

図7 暮らしの満足度（医療・福祉・介護サービス）について（県全体）

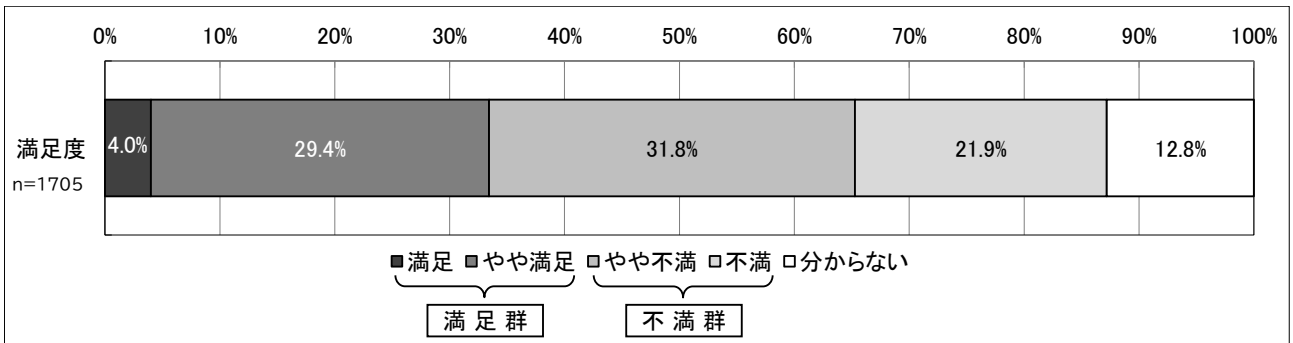


表13 医療・福祉・介護サービスに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	33.4%	31.9%	35.2%	36.0%	29.1%	35.9%	30.6%	37.8%	37.6%	34.8%	32.8%	39.3%	23.8%

表14 医療・福祉・介護サービスに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	53.7%	55.0%	52.4%	44.6%	56.0%	54.5%	55.3%	46.9%	51.3%	54.6%	56.4%	46.4%	63.6%

図8 暮らしの満足度（余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ）について（県全体）

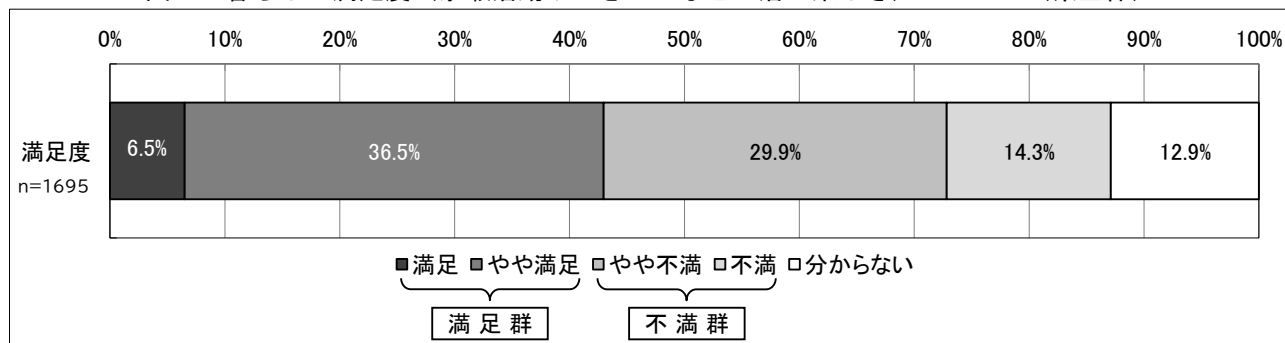


表15 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	43.0%	40.7%	45.3%	49.6%	37.5%	44.9%	42.5%	45.2%	42.2%	41.7%	47.0%	42.1%	40.5%

表16 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	44.2%	46.0%	42.3%	31.3%	49.2%	44.4%	43.8%	37.9%	45.2%	45.5%	43.0%	44.7%	48.3%

図9 暮らしの満足度（身の回りの自然環境や公園の充実）について（県全体）

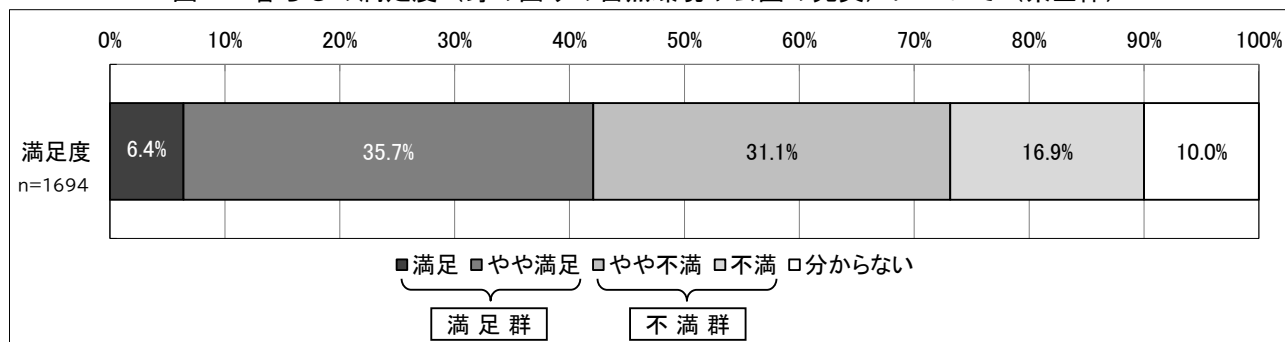


表17 身の回りの自然環境や公園の充実に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	42.1%	40.6%	43.3%	40.4%	43.6%	41.6%	40.1%	51.2%	40.5%	35.3%	40.3%	48.5%	41.7%

表18 身の回りの自然環境や公園の充実に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	48.0%	48.6%	47.6%	50.0%	45.9%	48.8%	49.6%	43.3%	50.4%	51.5%	48.9%	42.7%	48.3%

図10 暮らしの満足度（安心安全のための防犯や防災）について（県全体）

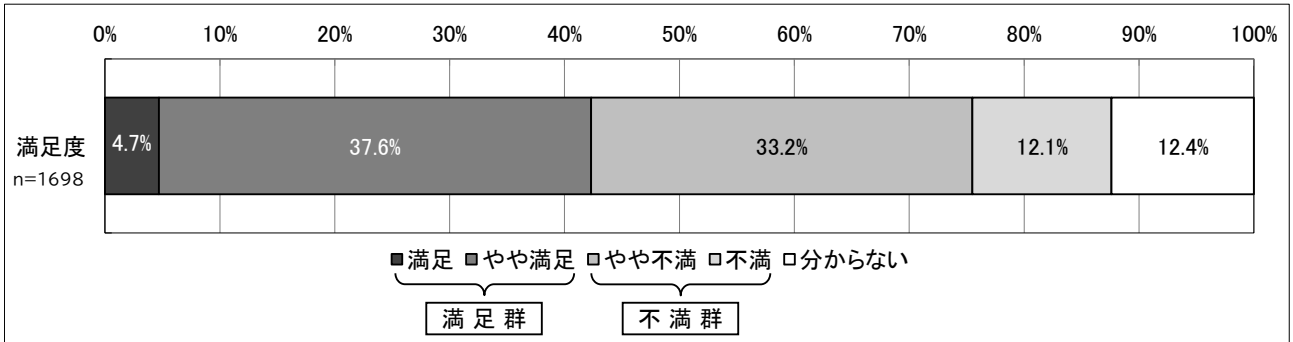


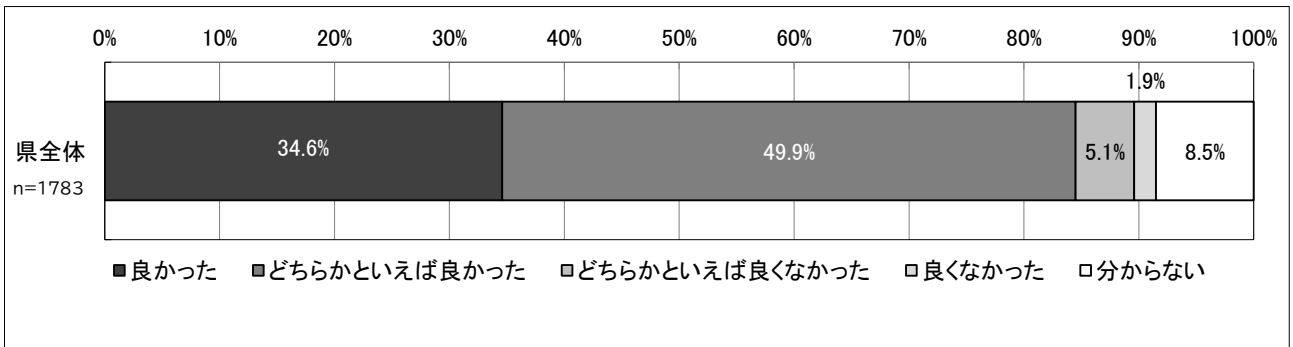
表19 安心安全のための防犯や防災に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	42.3%	41.5%	43.1%	47.1%	40.3%	42.4%	37.0%	40.1%	45.6%	41.2%	41.6%	46.5%	45.2%

表20 安心安全のための防犯や防災に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	45.3%	46.2%	44.2%	36.3%	45.8%	47.3%	46.9%	47.9%	42.7%	46.2%	45.9%	43.0%	44.8%

図11 「宮城で暮らして良かったと思うか」について（県全体）



(2) 防災意識について

調査結果の概要

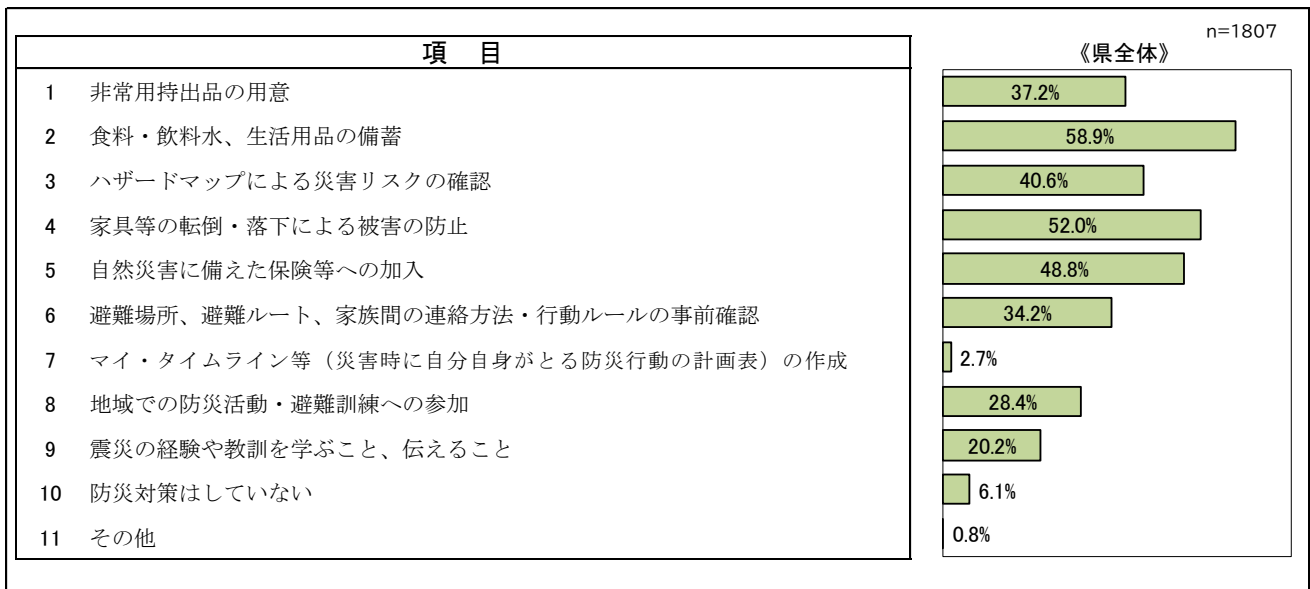
【地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策】

○県全体で、「地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策」について、「2 食料・飲料水、生活用品の備蓄 (58.9%)」が最も多く、次いで「4 家具等の転倒・落下による被害の防止 (52.0%)」、「5 自然災害に備えた保険等への加入 (48.8%)」の順となっています。

【防災対策をしていない主な理由】

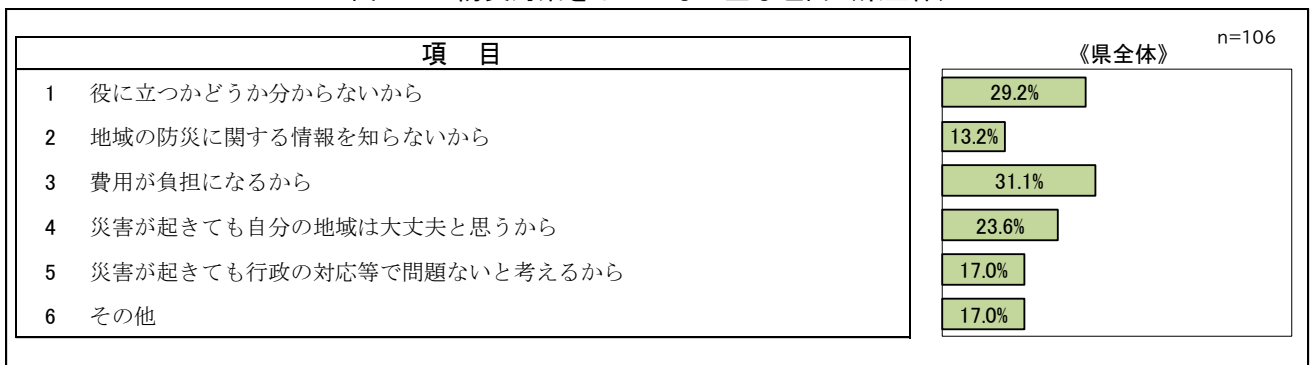
○県全体で、「日頃行っている防災対策」について「防災対策はしていない」の回答のうち、「防災対策をしていない主な理由」について、回答が最も多かったのは、「3 費用が負担になるから (31.1%)」で、次いで「1 役に立つかどうか分からないから (29.2%)」、「4 災害が起きても自分の地域は大丈夫と思うから (23.6%)」の順となっています。

図 1 2 地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 1 3 防災対策をしていない主な理由（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(3) 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

調査結果の概要

【東日本大震災の風化の実感】

- 県全体で、「東日本大震災の風化の実感」について、「常に実感する」又は「たまに実感する」と回答している割合の合計は、75.7%となっています。
- 一方で、「あまり実感したことはない」又は「実感したことはない」と回答している割合の合計は、21.0%となっています。

【東日本大震災の風化が進んでいると感じる時】

- 県全体で、「震災の風化が進んでいる（やや進んでいる）」の回答のうち、「東日本大震災の風化が進んでいると感じる時」について、回答が最も多かったのは、「1 自分自身の意識（52.1%）」で、次いで「6 日々の生活の状況（44.8%）」、「5 新聞やテレビなどでの取り上げ方（34.6%）」の順となっています。

【宮城県の復旧・復興の取組について、もっと力をいれてほしい取組】

- 県全体で、「復旧・復興の取組について、もっと力をいれてほしい取組」について、「1 4 風評対策（安全情報の発信）（61.3%）」が最も多く、次いで「7 雇用の維持・確保（55.0%）」及び「1 7 情報発信（47.0%）」の順となっています。

図 1 4 東日本大震災の風化の実感（県全体）

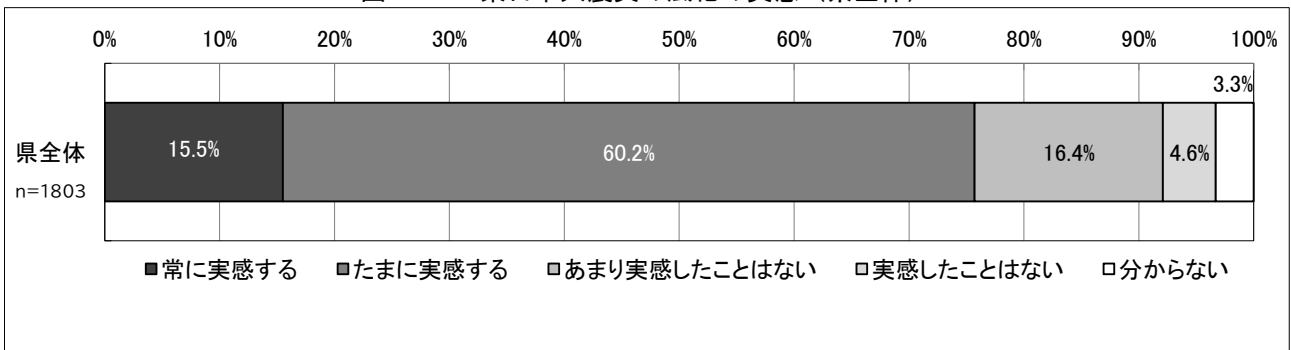
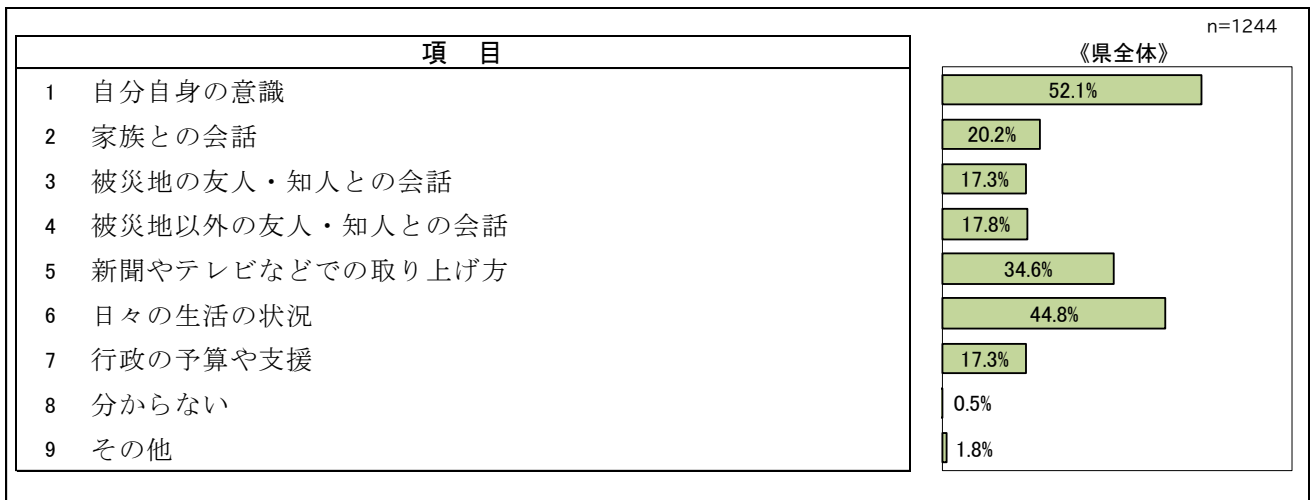
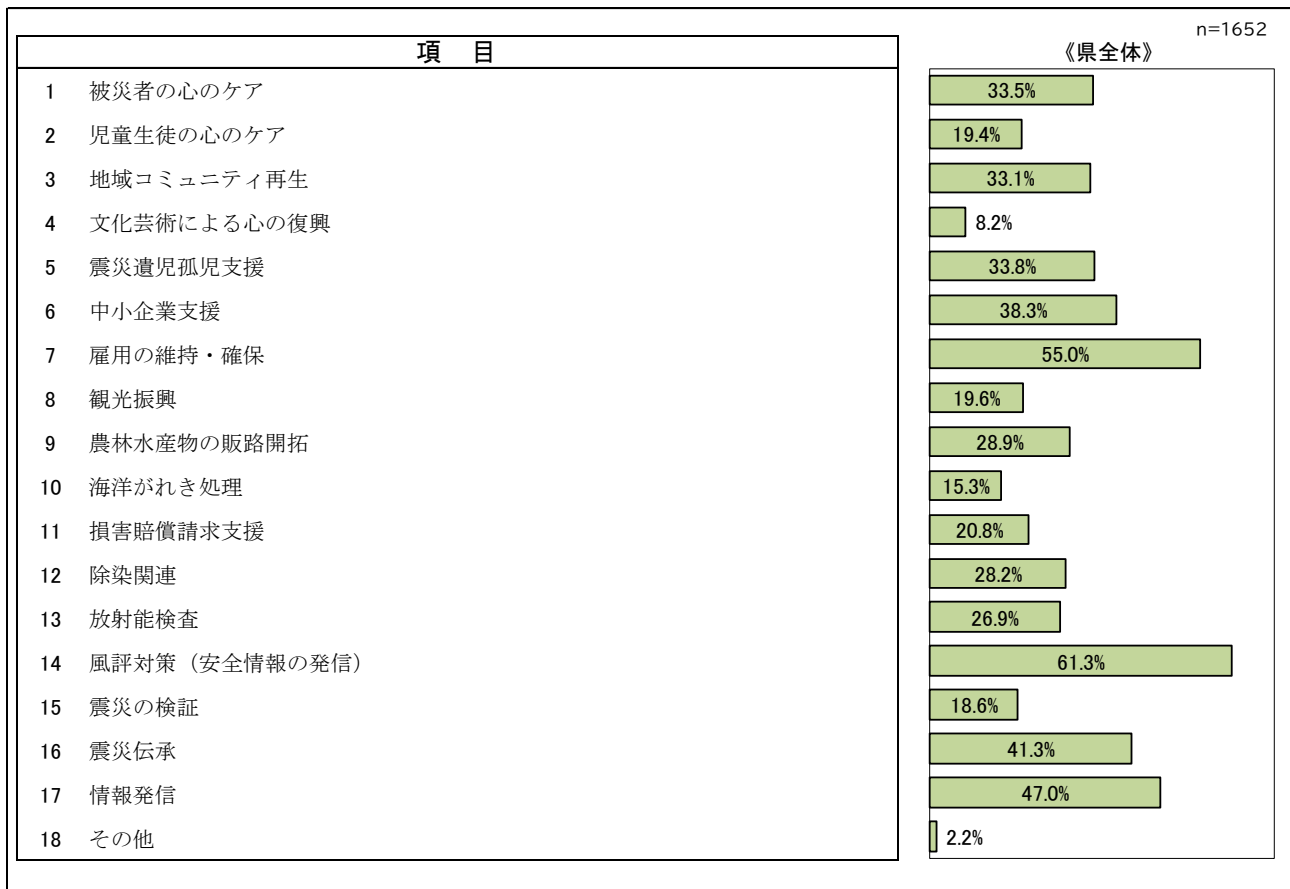


図 1 5 震災の風化が進んでいると感じる時（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 1 6 宮城県の復旧・復興の取組について、もっと力をいれてほしい取組（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(4) 投票率向上のための施策について

調査結果の概要

【宮城県議会議員一般選挙の投票を行ったか】

- 県全体で、「宮城県議会議員一般選挙の投票を行ったか」について、「当日投票を行った (30.4%)」又は「期日前投票を行った (21.6%)」、「不在者投票を行った (1.9%)」と回答している割合の合計は、53.9%となっています。
- 一方で、「行わなかった」と回答している割合は、46.1%となっています。

【投票を行わなかった一番の理由】

- 県全体で、「投票を行わなかった一番の理由」について、「8 居住地の選挙区で投票が行われなかったから (39.3%)」が最も多く、次いで「9 投票しても何も変わらないと思ったから (17.5%)」、「2 投票したい候補者や政党がないから (15.0%)」の順となっています。

【各種選挙啓発活動で見たことや聞いたことがあるもの】

- 県全体で、「各種選挙啓発活動で見たことや聞いたことがあるもの」について、「5 テレビCM (29.5%)」が最も多く、次いで「2 選挙公報 (28.6%)」、「4 商業施設や学校、町内会の掲示板上に掲示されたポスター (12.8%)」の順となっています。
- 一方で、「15 選挙啓発を見たことがない」と回答している割合は、41.5%となっています。

【「センキョ割」の認知度】

- 県全体で、「「センキョ割」の認知度」について、「投票前に知っていた (15.7%)」又は「投票後に知った (4.0%)」と回答している割合の合計は、19.7%となっています。
- 一方で、「知らなかった」と回答している割合は、80.3%となっています。

【「センキョ割」による投票意欲】

- 県全体で、「「センキョ割」による投票意欲」について、「高まった (10.5%)」又は「やや高まった (8.2%)」と回答している割合の合計は、18.7%となっています。
- 一方で、「あまり影響がなかった (31.3%)」又は「まったく影響がなかった (50.0%)」と回答している割合の合計は、81.3%となっています。

図 17 宮城県議会議員一般選挙の投票を行ったか (県全体)

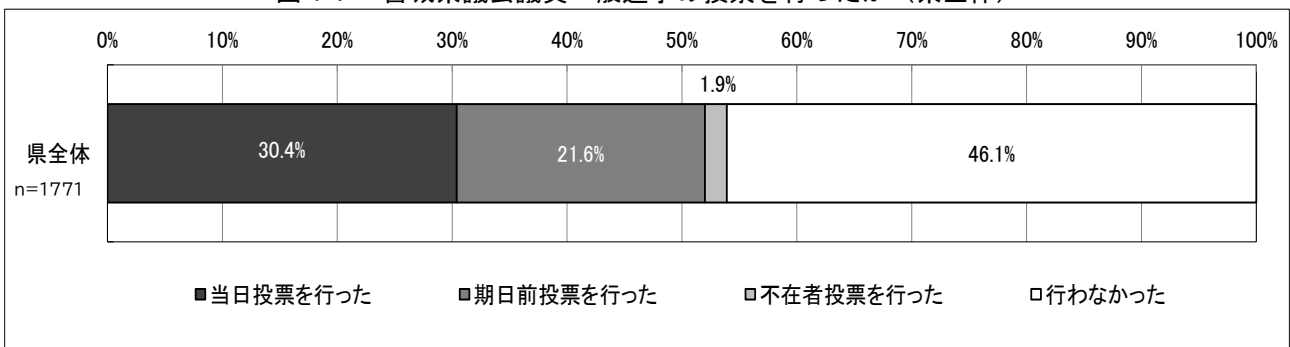


図 1 8 投票を行わなかった一番の理由（県全体）

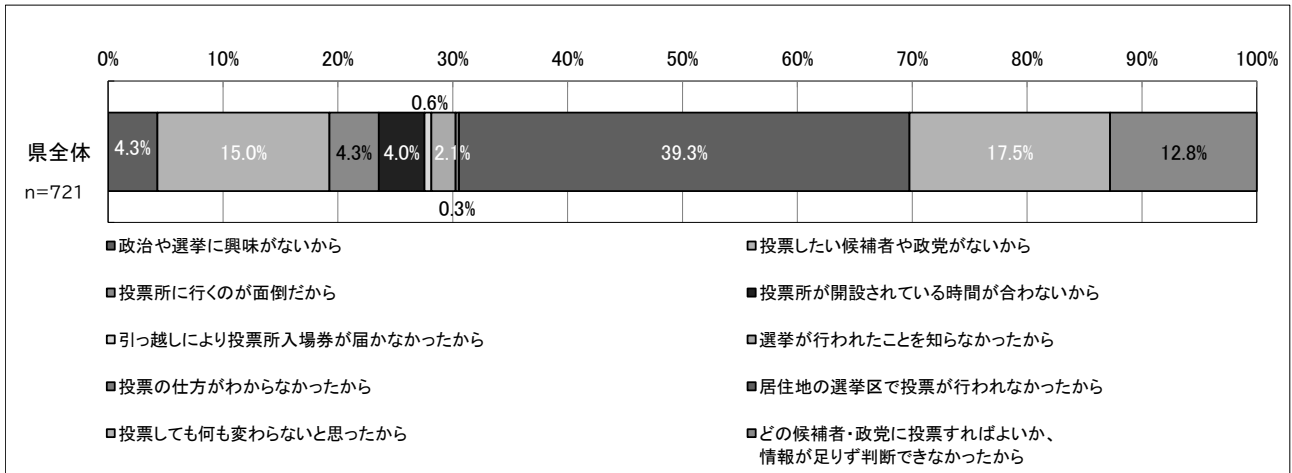
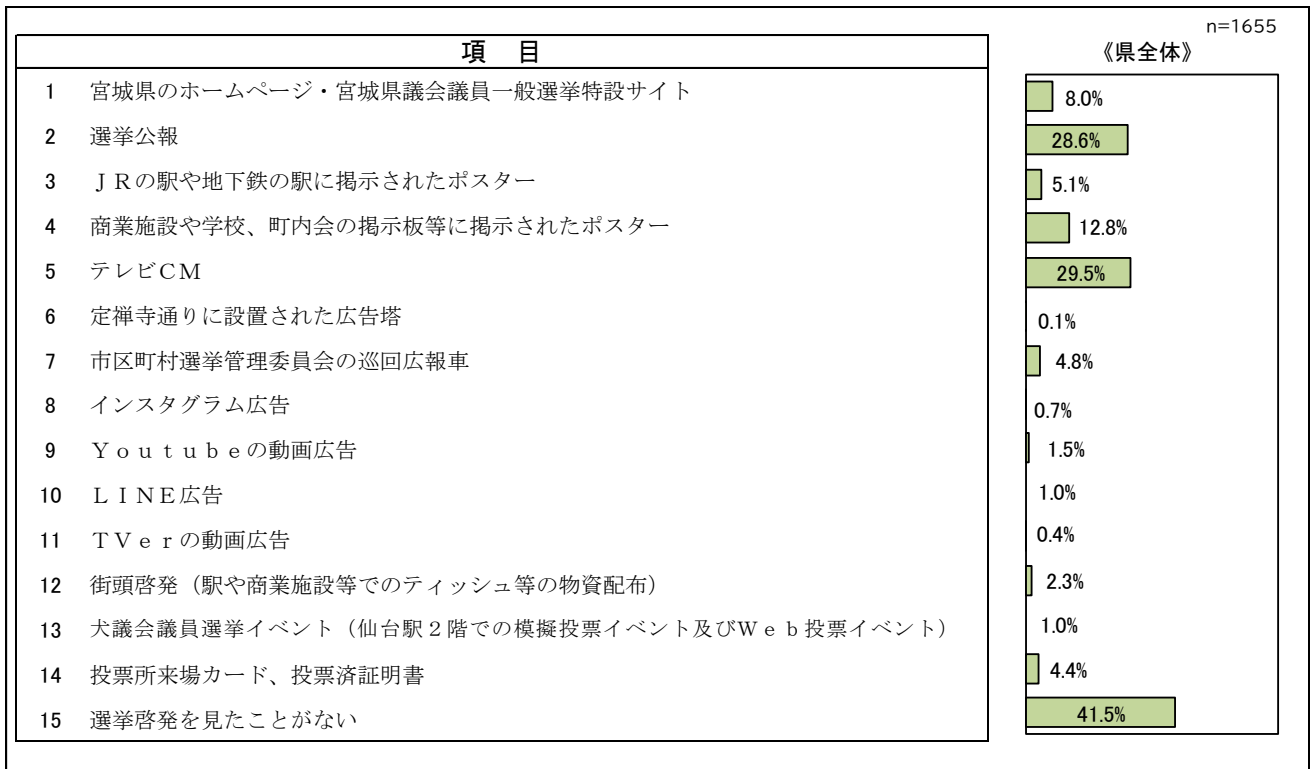


図 1 9 各種選挙啓発活動で見たことや聞いたことがあるもの（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 0 「センキョ割」の認知度（県全体）

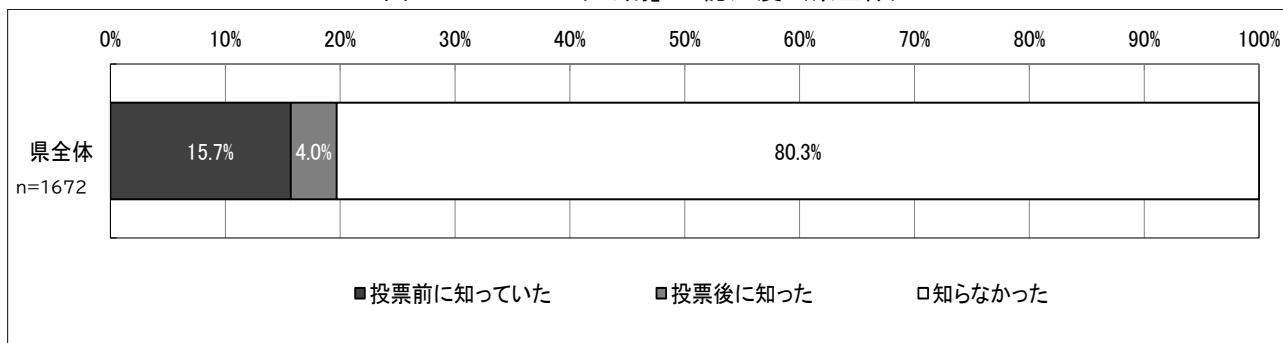
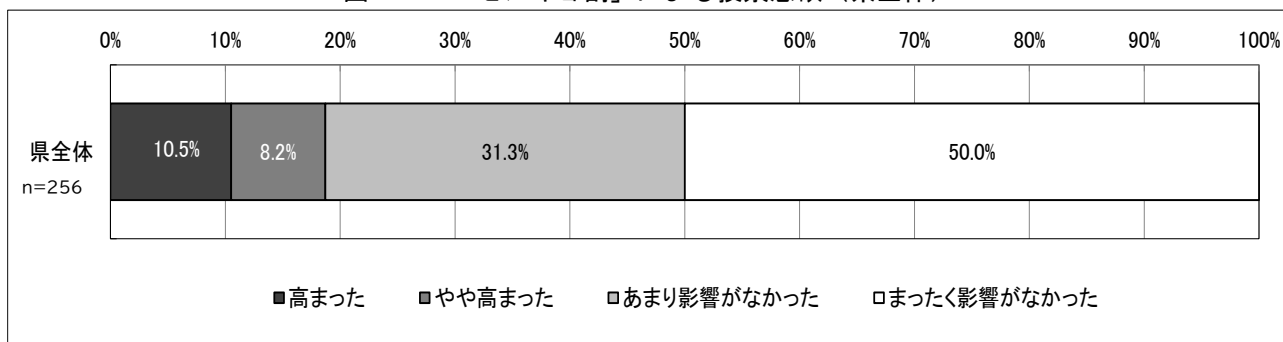


図 2 1 「センキョ割」による投票意欲（県全体）



(5) エシカル消費について

調査結果の概要

【SDGsの認知度】

- 県全体で、「SDGsの認知度」について、「言葉と内容の両方を知っている (53.8%)」又は「言葉は知っているが内容は知らない (20.0%)」と回答している割合の合計は、73.8%となっています。
- 一方で、「言葉も内容も知らない」と回答している割合は、26.2%となっています。

【フェアトレードの認知度】

- 県全体で、「フェアトレードの認知度」について、「言葉と内容の両方を知っている (16.3%)」又は「言葉は知っているが内容は知らない (16.7%)」と回答している割合の合計は、33.0%となっています。
- 一方で、「言葉も内容も知らない」と回答している割合は、67.0%となっています。

【エシカル消費（倫理的消費）の認知度】

- 県全体で、「エシカル消費（倫理的消費）の認知度」について、「言葉と内容の両方を知っている (7.6%)」又は「言葉は知っているが内容は知らない (14.3%)」と回答している割合の合計は、21.9%となっています。
- 一方で、「言葉も内容も知らない」と回答している割合は、78.1%となっています。

【エシカル消費への興味】

- 県全体で、「エシカル消費への興味」について、「非常に興味がある (9.4%)」又は「ある程度興味がある (52.7%)」と回答している割合の合計は、62.1%となっています。
- 一方で、「あまり興味がない (29.8%)」又は「全く興味がない (8.1%)」と回答している割合の合計は、37.9%となっています。

【エシカル消費に取り組む又は取り組もうとする際の支障となること】

- 県全体で、「エシカル消費に取り組む又は取り組もうとする際の支障となること」について、回答が最も多かったのは「1 どれがエシカル消費につながる商品やサービスか分からない (55.6%)」で、次いで「3 参加方法が分からない (24.6%)」、「4 経済的余裕がない (24.0%)」の順となっています。

【エシカル消費に取り組みたい又はもっと取り組みたいと思う条件】

- 県全体で、「エシカル消費に取り組みたい又はもっと取り組みたいと思う条件」について、回答が最も多かったのは「4 店舗等で分かりやすい表示（ポップ）があれば (45.8%)」で、次いで「1 同種の商品・サービスと価格が同程度であれば (44.8%)」、「6 環境・社会問題の解決に繋がることが分かれば (32.4%)」の順となっています。

【エシカル消費につながる商品・サービスの今後の購入意欲】

- 県全体で、「エシカル消費につながる商品・サービスの今後の購入意欲」について、「非常に購入したいと思う (6.9%)」又は「ある程度購入したいと思う (65.0%)」と回答している割合の合計は、71.9%となっています。
- 一方で、「あまり購入したいと思わない (22.0%)」又は「全く購入したいと思わない (6.0%)」と回答している割合の合計は、28.0%となっています。

図 2 2 S D G s の認知度 (県全体)

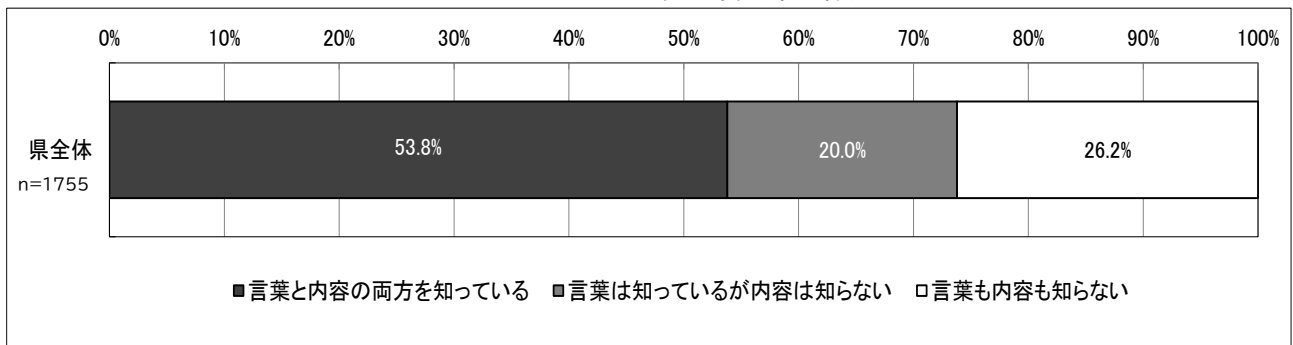


図 2 3 フェアトレードの認知度 (県全体)

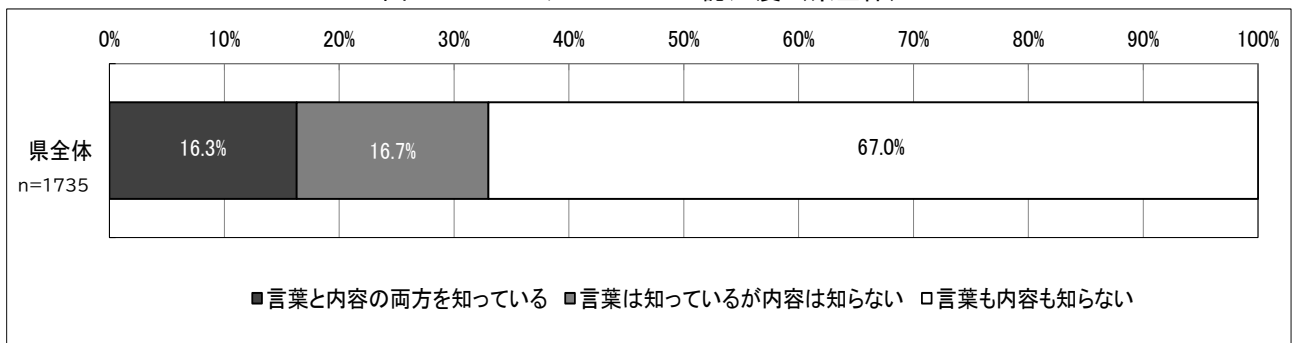


図 2 4 エシカル消費 (倫理的消費) の認知度 (県全体)

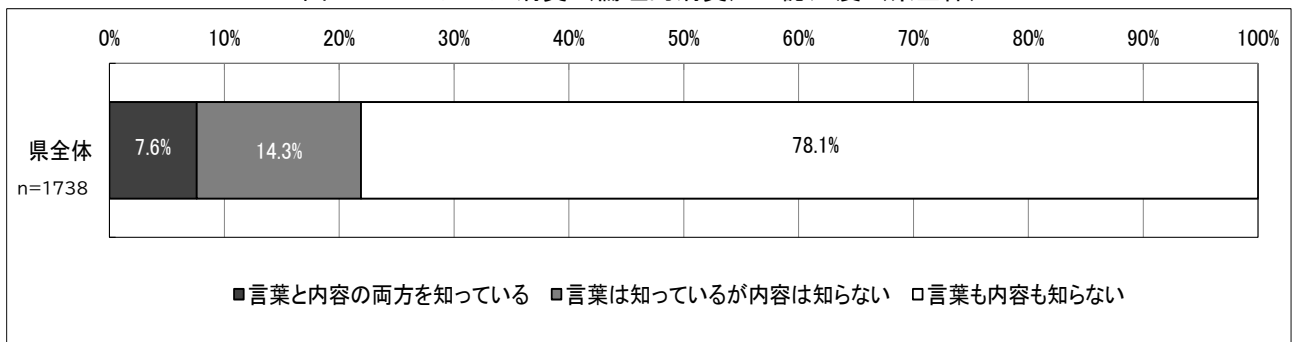


図 2 5 エシカル消費への興味 (県全体)

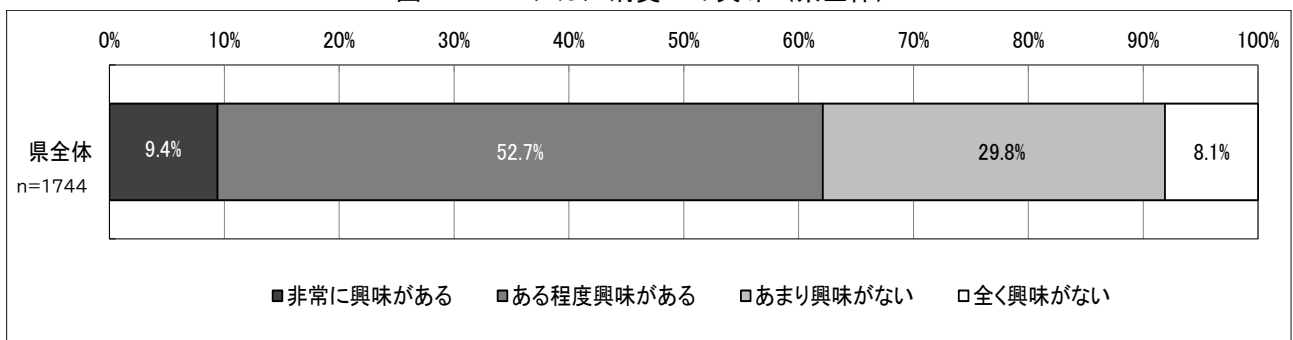
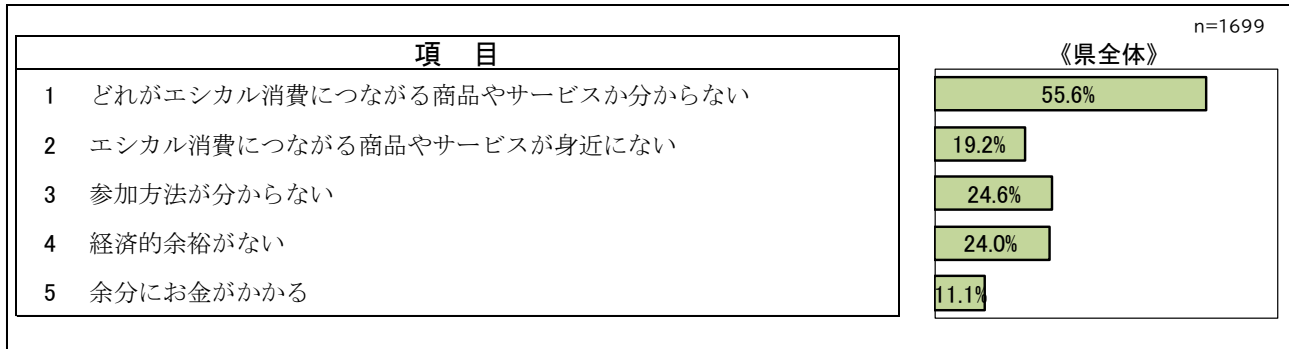
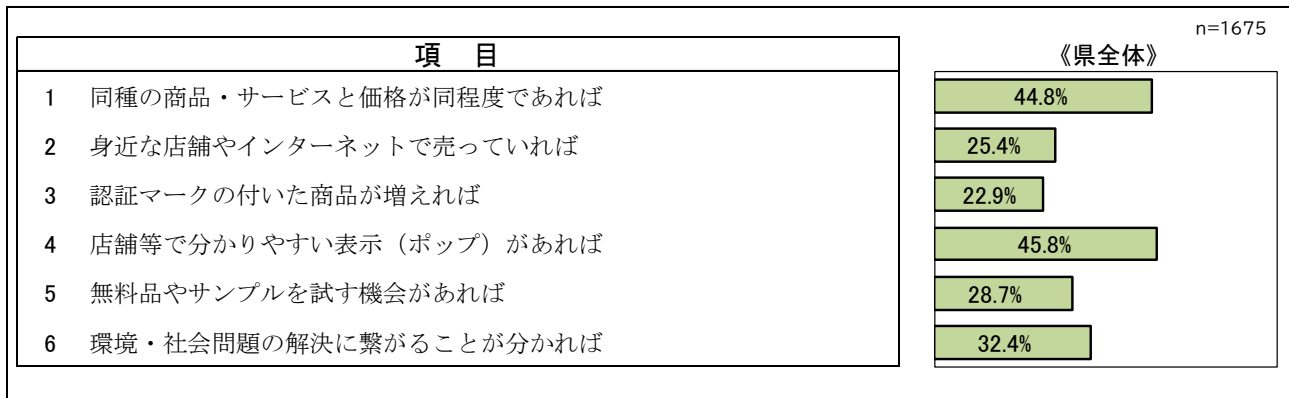


図 2 6 エシカル消費に取り組む又は取り組もうとする際の支障となること（県全体）



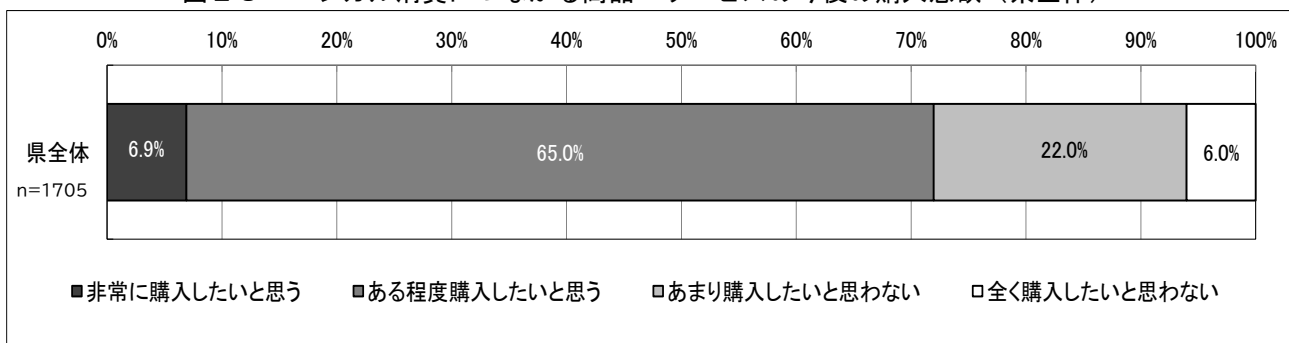
※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 7 エシカル消費に取り組みたい又はもっと取り組みたいと思う条件（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 8 エシカル消費につながる商品・サービスの今後の購入意欲（県全体）



(6) 救急電話相談ダイヤルについて

調査結果の概要

【「おとな救急電話相談」の認知度】

- 県全体で、「おとな救急電話相談」の認知度について、「知っている」と回答している割合は、29.4%となっています。
- 一方で、「知らない」と回答している割合は、70.6%となっています。

【「おとな救急電話相談」をどのように知ったか】

- 県全体で、「おとな救急電話相談」をどのように知ったかについて、回答が最も多かったのは、「1 県政だより (44.5%)」で、次いで「9 病院等の掲示版 (26.6%)」、「2 テレビ (25.2%)」の順となっています。

【「おとな救急電話相談」の利用有無】

- 県全体で、「おとな救急電話相談」の利用有無について、「利用したことがある」と回答している割合は、10.1%となっています。
- 一方で、「利用したことがない (88.3%)」又は「利用しようとしたが繋がらなかった (1.6%)」と回答している割合の合計は、89.9%となっています。

【「おとな救急電話相談」の満足度】

- 県全体で、「おとな救急電話相談」の満足度について、「満足 (38.0%)」又は「やや満足 (28.0%)」と回答している割合の合計は、66.0%となっています。
- 一方で、「やや不満 (16.0%)」又は「不満 (14.0%)」と回答している割合の合計は、30.0%となっています。

【「こども夜間安心コール」の認知度】

- 県全体で、「こども夜間安心コール」の認知度について、「知っている」と回答している割合は、31.2%となっています。
- 一方で、「知らない」と回答している割合は、68.8%となっています。

【「こども夜間安心コール」をどのように知ったか】

- 県全体で、「こども夜間安心コール」をどのように知ったかについて、回答が最も多かったのは、「1 県政だより (40.2%)」で、次いで「9 病院等の掲示版 (35.4%)」、「2 テレビ (19.4%)」の順となっています。

【「こども夜間安心コール」の利用有無】

- 県全体で、「こども夜間安心コール」の利用有無について、「利用したことがある」と回答している割合は、20.4%となっています。
- 一方で、「利用したことがない (78.8%)」又は「利用しようとしたが繋がらなかった (0.8%)」と回答している割合の合計は、79.6%となっています。

【「こども夜間安心コール」の満足度】

- 県全体で、「こども夜間安心コール」の満足度について、「満足 (30.7%)」又は「やや満足 (41.6%)」と回答している割合の合計は、72.3%となっています。
- 一方で、「やや不満 (14.9%)」又は「不満 (7.9%)」と回答している割合の合計は、22.8%となっています。

図 2 9 「おとな救急電話相談」の認知度（県全体）

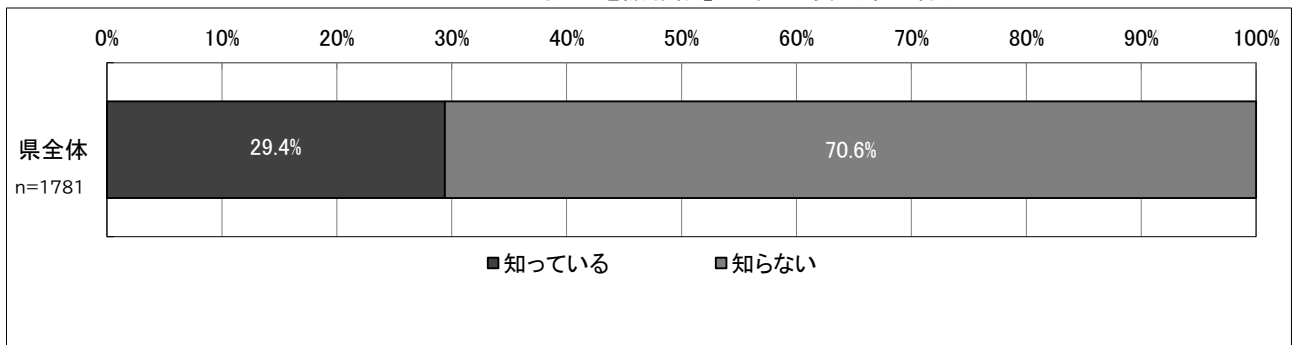


図 3 0 「おとな救急電話相談」をどのように知ったか（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 3 1 「おとな救急電話相談」の利用有無（県全体）

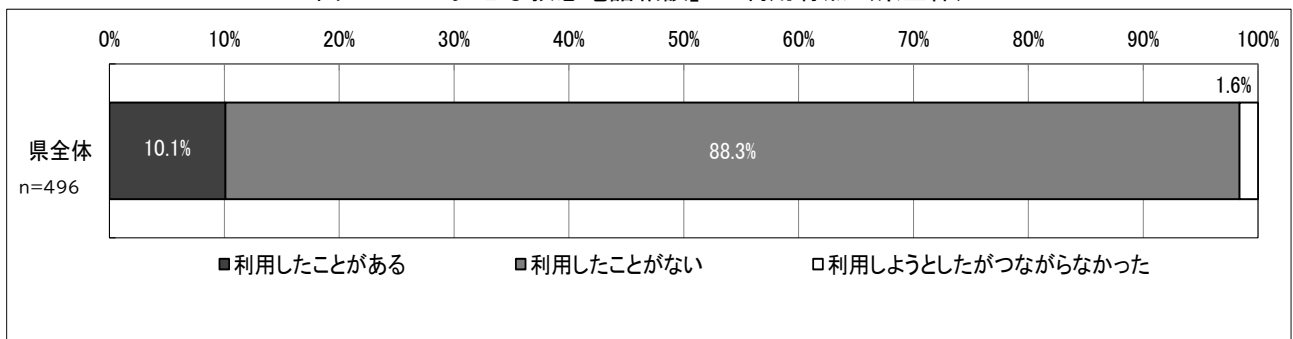


図 3 2 「おとな救急電話相談」の満足度（県全体）

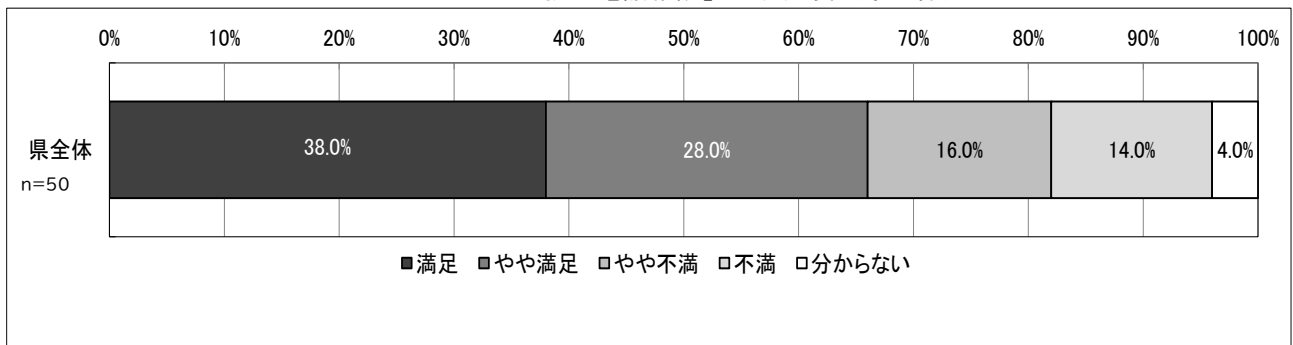


図 3 3 「子ども夜間安心コール」の認知度（県全体）

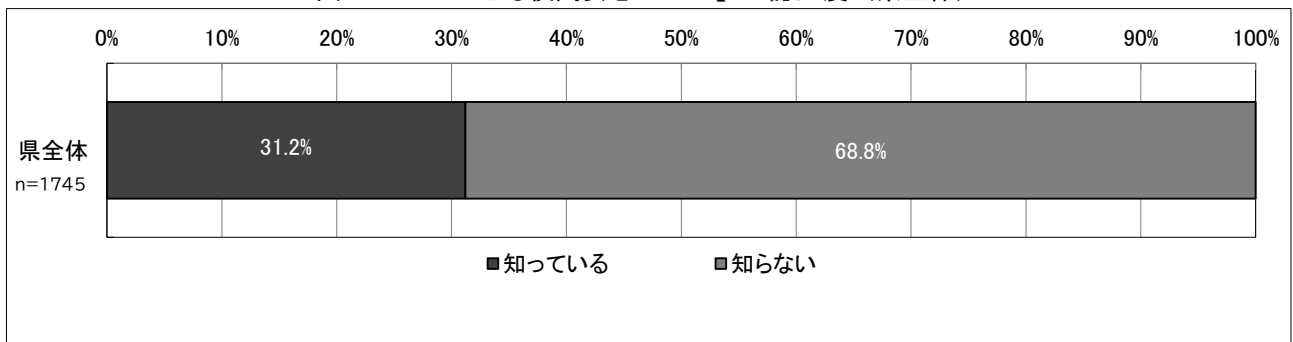
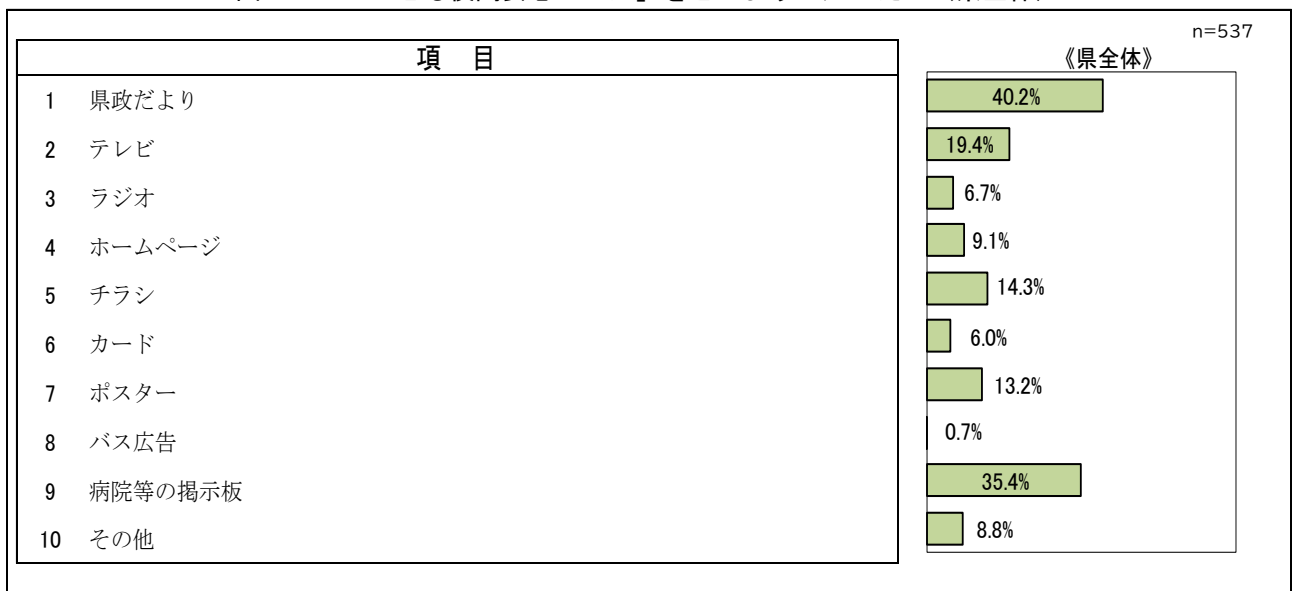


図 3 4 「子ども夜間安心コール」をどのように知ったか（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図35 「子ども夜間安心コール」の利用有無（県全体）

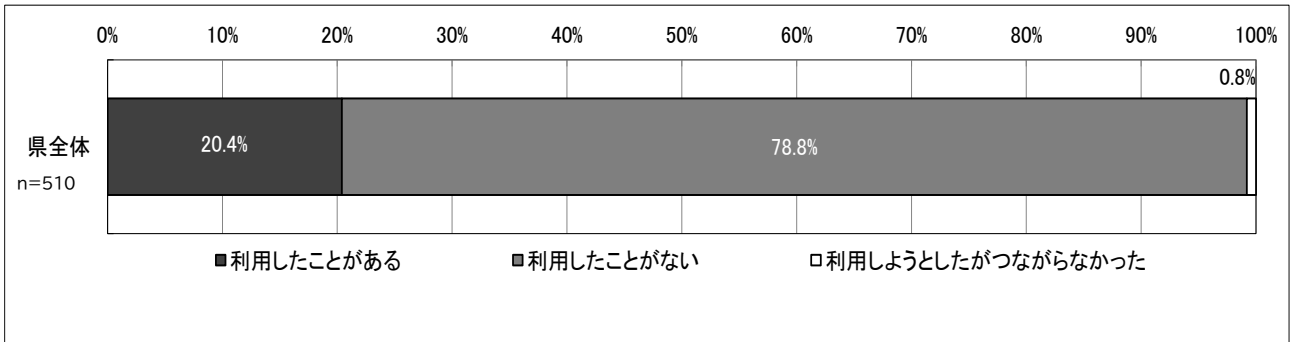
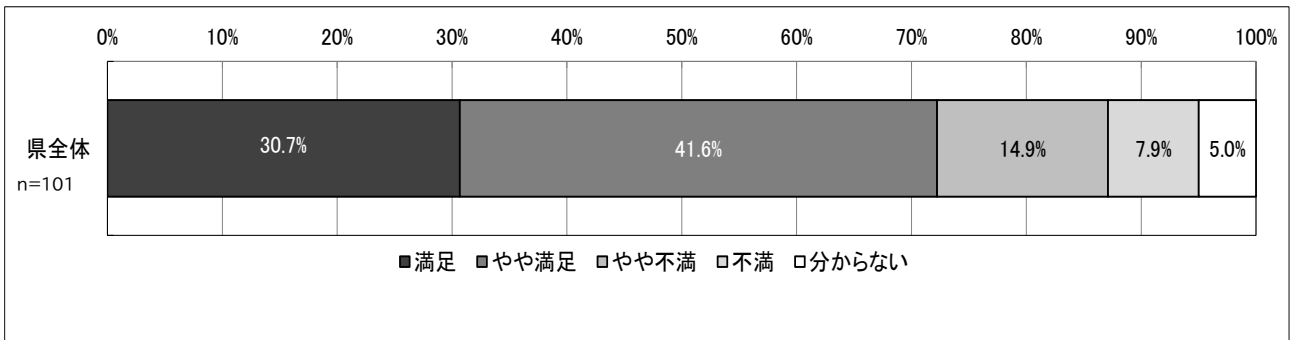


図36 「子ども夜間安心コール」の満足度（県全体）



(7) 少子化対策について

調査結果の概要

【少子化の主な原因】

○県全体で、「少子化の主な原因」について、回答が最も多かったのは、「6 子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいこと (49.5%)」で、次いで「1 雇用・就労等が不安定であること (45.9%)」、「3 仕事と子育ての両立に不安や難しさがあること (43.9%)」の順となっています。

【結婚を望む方の希望を叶えるため、行政の取組として必要なこと】

○県全体で、「結婚を望む方の希望を叶えるため、行政の取組として必要なこと」について、「1 安定した雇用・就労環境の確保・創出 (49.6%)」が最も多く、次いで「3 出会いの機会の創出 (19.4%)」、「4 結婚を前向きなものとする機運の醸成 (13.2%)」の順となっています。

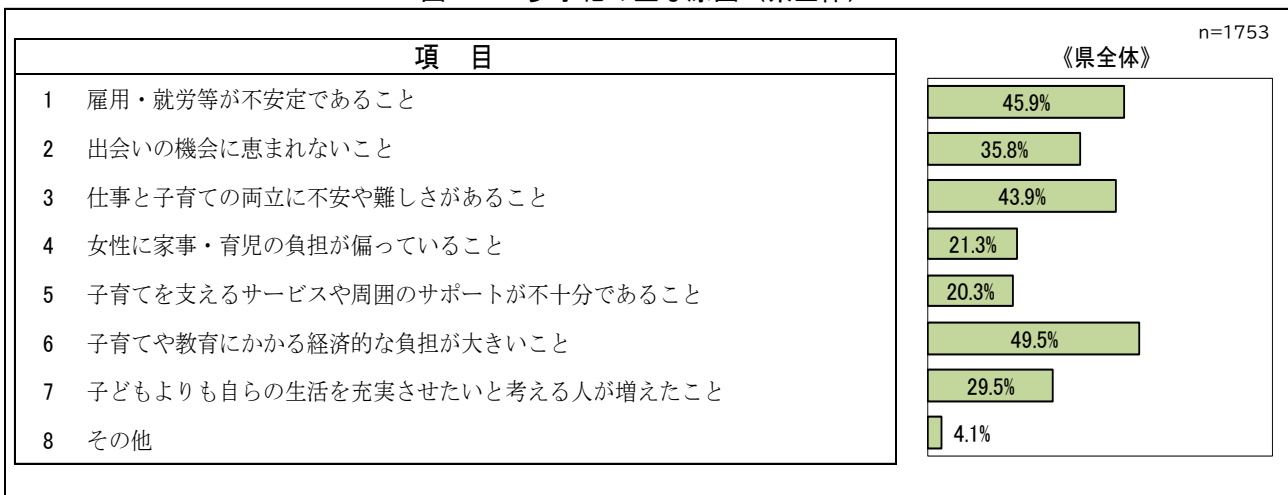
【育児と仕事の両立を支援するため、職場が取り組むべき最も重要な課題】

○県全体で、「育児と仕事の両立を支援するため、職場が取り組むべき最も重要な課題」について、「3 子どもの病気などの急用時に、職場で柔軟な対応ができないこと (28.4%)」が最も多く、次いで「2 休暇が取りづらい雰囲気があること (25.9%)」、「1 日常的に労働時間が長い・業務量が多いこと (20.8%)」の順となっています。

【県内の若者が首都圏に流出する要因】

○県全体で、「県内の若者が首都圏に流出する要因」について、「1 就きたい職種や望んでいる働き方が不足しているため (44.5%)」が最も多く、次いで「2 給与水準が低いため (35.7%)」、「3 若者向けのイベントや娯楽施設が少ないため (9.5%)」の順となっています。

図 3 7 少子化の主な原因 (県全体)



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図38 結婚を望む方の希望を叶えるため、行政の取組として必要なこと（県全体）

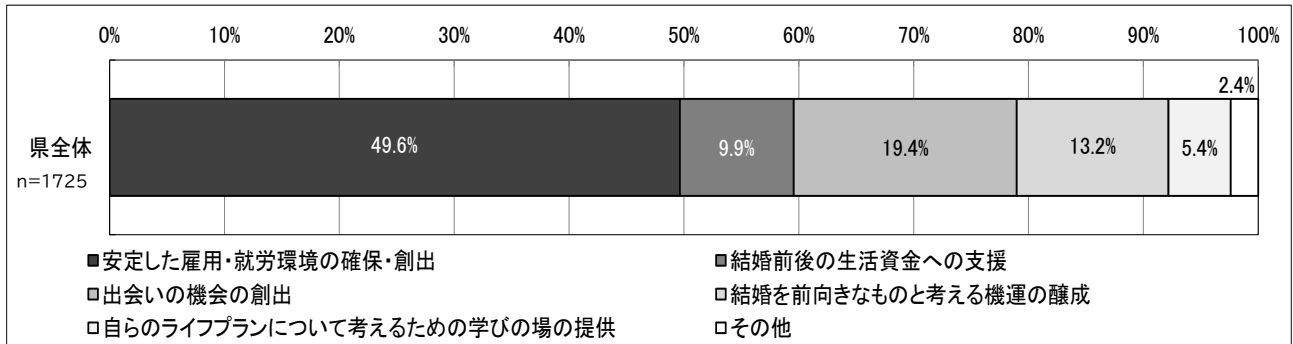


図39 育児と仕事の両立を支援するため、職場が取り組むべき最も重要な課題（県全体）

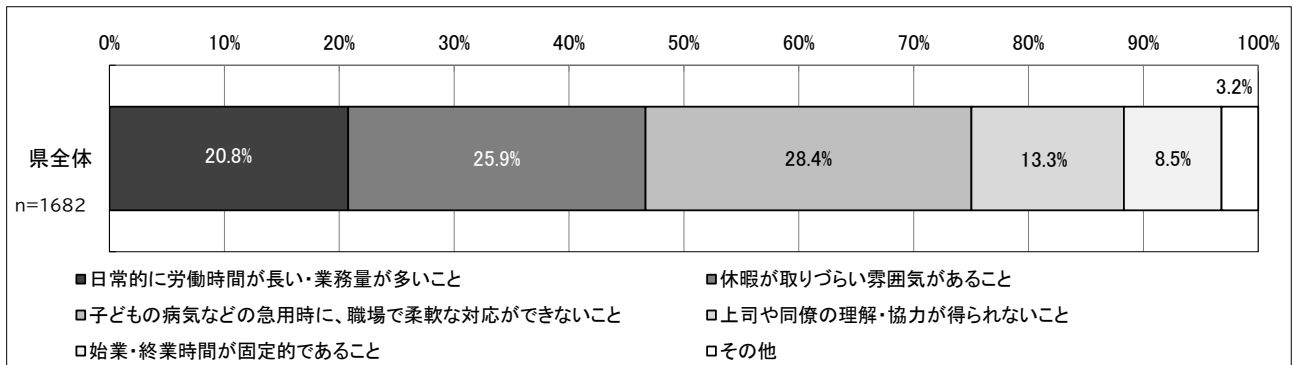
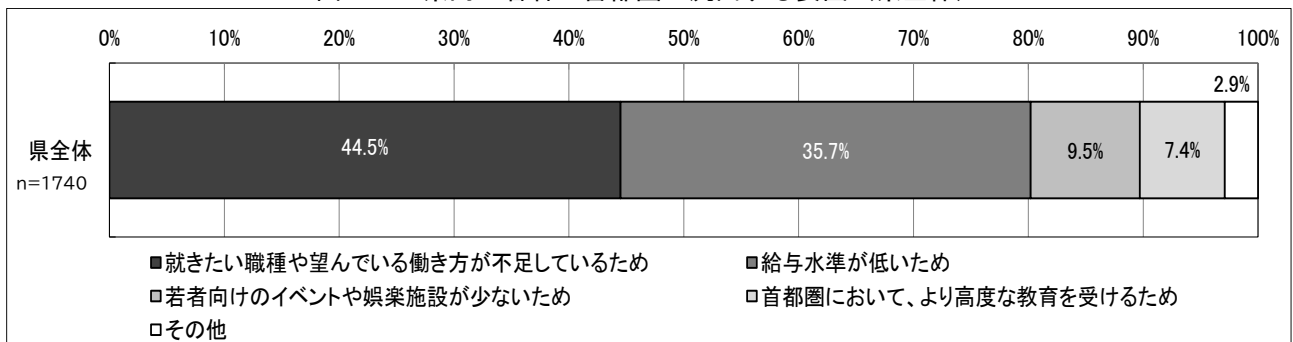


図40 県内の若者が首都圏に流出する要因（県全体）



III 参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		抽出数		回答者数		回収率 (%)	(参考) 県人口構成 比(%)
		実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)		
県全体		4,000	100.0	1,837	100.0	45.9	100.0
性 別	男性	2,000	50.0	841	46.3	42.1	48.4
	女性	2,000	50.0	975	53.7	48.8	51.6
年 代	10歳代(18歳以上)	84	2.1	25	1.4	29.8	2.1
	20歳代	368	9.2	86	4.7	23.4	9.2
	30歳代	458	11.5	140	7.7	30.6	11.5
	40歳代	656	16.4	247	13.5	37.7	16.4
	50歳代	697	17.4	331	18.1	47.5	17.4
	60歳代	755	18.9	436	23.9	57.7	18.9
	70歳以上	982	24.6	560	30.7	57.0	24.6
居住地(圏域)	仙南圏域	571	14.3	258	14.3	45.2	7.3
	仙台圏域	572	14.3	228	12.6	39.9	66.4
	大崎圏域	572	14.3	252	13.9	44.1	8.6
	栗原圏域	571	14.3	290	16.0	50.8	2.9
	登米圏域	571	14.3	274	15.2	48.0	3.4
	石巻圏域	572	14.3	248	13.7	43.4	8.1
	気仙沼・本吉圏域	571	14.3	258	14.3	45.2	3.2
職 業	自営業主・家族従業者	—	—	234	12.8	—	—
	被用者	—	—	865	47.4	—	—
	企業役員・団体代表等	—	—	34	1.9	—	—
	専業主婦(主夫)	—	—	248	13.6	—	—
	学生	—	—	30	1.6	—	—
	無職	—	—	389	21.3	—	—
	その他	—	—	23	1.3	—	—
業種別	農業、林業	—	—	117	10.6	—	—
	漁業	—	—	17	1.5	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	1	0.1	—	—
	建設業	—	—	107	9.7	—	—
	製造業	—	—	164	14.9	—	—
	電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	28	2.5	—	—
	情報通信業	—	—	21	1.9	—	—
	運輸業、郵便業	—	—	46	4.2	—	—
	卸売業、小売業	—	—	88	8.0	—	—
	金融業、保険業	—	—	19	1.7	—	—
	不動産業、物品賃貸業	—	—	12	1.1	—	—
	学術研究、専門・技術サービス業	—	—	26	2.4	—	—
	宿泊業、飲食サービス業	—	—	48	4.4	—	—
	教育、学習支援業	—	—	46	4.2	—	—
	医療・福祉	—	—	148	13.4	—	—
	その他のサービス業	—	—	100	9.1	—	—
	公務	—	—	63	5.7	—	—
	その他	—	—	51	4.6	—	—

※1 各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計は一致しません。

※2 年代別の県人口構成比については、総務省統計局「令和2年国勢調査結果」の18歳以上の男女における割合を基に算出しています。
その他の属性別については、令和5年6月1日現在の選挙人名簿登録者数を基に算出しています。